

テートの決断

18禁



レイテに散る

蛸壺屋

艦娘太平洋戦記 第7弾

テートクの決断 レイテに散る



蛸壺屋

前書き&後書き

どうも蛸壺屋です。
最後がスペース内に収まらず、後書きスペースがなくなったので
今回はこの位置になってしまいました。

艦これ本7冊目です。
44年後半の巻なので45年1月まで描きたかったですが、東條の退陣とレイテ沖海戦を描いたら
ページ切れになってしまった感じです。レイテ沖海戦には過去最大の20P以上を割いたのですが
それでも全部は入り切らず、撤退時の損害は次に持ち越しになってしまいました。

相変わらずのギョウギョウ詰めですが、最低限入れたい部分は端折らず描けたので
おおむね満足しています。

連合艦隊も壊滅し、長かったシリーズももうすぐ終わりですが
レイテ以後、大和特攻以外に何をしていたのかもなるだけ端折らず最後まで描けたら
いいと思ってます。次で終戦までいければいいですが

ではまた、次にお会いしましょう。

作画や情報の間違い修正専用ページを作りました。

『テートクの決断フォローページ』
<http://takotuboya.jp/teitoku/syuusei.html>

ではまた次回お会いしましょう。

誌名 テートクの決断 レイテに散る
発行者 蛸壺屋
発行日 2018年8月12日
印刷所 大陽出版

ご意見ご感想は下記アドレスまで

URL : <http://takotuboya.jp>
E-Mail : tk@takotuboya.jp

**それでは今回は
1944年6月のマリアナ沖海戦
前後から始まります**

ニューギニアの
ジャングルに

食料はなく

水もなく
(生水は飲めない)
薬もない

あるのはただ

死体と病人

虫と爆撃

うっ
また虫が目だ…
ホントやだ

え…あれ!?!
大発がたつた一隻

輸送船3隻を
護衛してたはず

ない

積み荷が
全部無く
なってる…

空っぽだ

なぜ??…うっしり!!?

途中で物資が無くなった
なんてとても
報告できない…

陸軍が
どれだけ
待ち望んでることが

どの面下げて
空の大発でウエフクに
上陸すればいいのか
……
……いつぞ

敵機が
撃沈してくれれば
言い訳も…

不知火

は

珍しいわね
不知火が
寝過ごすなんて

そろそろ出発だって
こわーい那智さんが
呼んでるわよ

ハイ……
すみません
すぐ準備します

まー
ニューギニアから
またオホーツク海だから
身体も大変だろうけど

輸送は本当にもう
ムリだったのか？

……犠牲を覚悟で強行すれば
あと1回くらいは出来たんじゃないか？



遅いぞ
阿武隈！

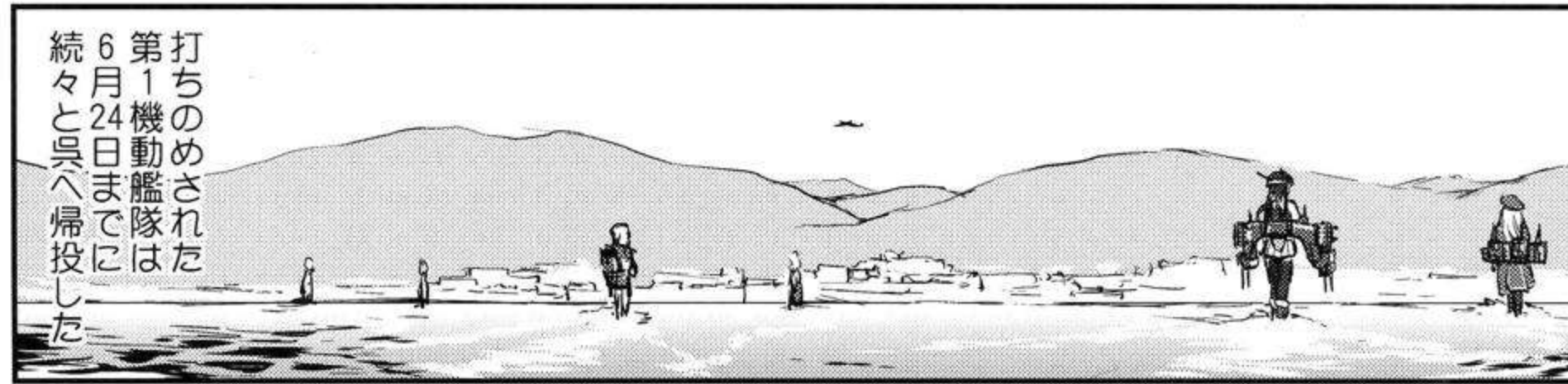


ハイハイ
一水戦ただ今
まいります

6月19日 『あ号作戦』開始に
北方の『第5艦隊』は内地の守りと
予備戦力として呼び戻された



だが
6月19、20日の
マリアナ決戦で
日本は大敗



打ちのめされた
第1機動艦隊は
6月24日までに
続々と呉へ帰投した

小沢司令長官は大敗の責任を取り
辞任を申し出たが
豊田連合艦隊司令長官に
慰留された



イカンイカン
これからも第1機動艦隊の
指揮を取ってくれ

一方スプルーアンス提督は
小沢艦隊を深追いせずサイパンに戻り
砲爆撃の地上戦支援を再開した
上陸部隊も
それに合わせて
中部の山岳地帯へ
進撃を始めた



今や制空権を完全に奪われた
日本軍は望みのない抵抗を続けた

東京では嶋田軍令部総長が
海戦の結果を失意の奏上に
訪れたが



緊急にサイパンへ増援を送り
なんとか奪回できないのか

東條は2個師団を増援する『Y作戦』を計画していたが

海軍が負けたりするから部隊が送れないじゃないか!

海軍でも嶋田批判派から声が上がった

空母がやられたのなら水上部隊の殴り込みがある

私に山城と陸戦隊2千を与えてくれればサイパンへ殴り込んで見せる

発艦だけでいいから残った空母に訓練機と陸軍機を積んで援護させろ!

第一次ソロモン海戦
かみしげのりの参謀・神重徳大佐

この神大佐は独断で突っ走り勢いで断言する性格から『海の辻政信』と呼ばれた

開戦前に海上輸送力が検討された時根拠の薄い楽観的な数字で政府軍部の大局判断を誤らせた前科もあった

軍令部の専門家が研究して出した数字だ信用していい(未確認)

メチャクチャ言ってますね瑞鶴さん

母艦航空隊を何だと思ってるんだ

瑞鶴さん...

大本營で表向き検討は続いたが結論は変えようがなかった

遅い輸送船で2個師団を運び上陸させるまで10日かかる

米機動部隊の目の前でそんなことが成功する可能性はない

奪回作戦はどうなっておるのか!

2日後 天皇は再び尋ねた同じことを二度尋ねるのは異例のことだった

このさい陸軍も航空戦力を結集して乾坤一擲やってみてはどうか

国防の責を負う陸軍に乾坤一擲という考え方はありません

フィリピンでの決戦を考えていた陸軍はここで航空戦力を失うわけにはいかなかった

6月24日 東條と嶋田両総長は奪還作戦の断念を再び奏上した

アツツに続き今またサイパンを見捨てようとする両者に対し天皇は怒りを露わにし

一言も返事をせず慰勞の言葉も一切かけなかったこれも異例のことだった

二人が退出した後天皇は今度は元帥会議を聞くよう命じた

ことは重大を要するゆえ陸海軍の元帥を集めて意見を聞きたい

翌25日 天皇臨席のもとに
4人の元帥と両総長で会議が
開かれたが



同じ議論が
繰り返されただけだった

あー…

陸海軍共に何か
これまでとは違う
特殊な兵器なり戦法を
考える必要が
あるのではないか

伏見宮
海軍元帥

東條参謀総長

それに関しては
すでに考慮中です

嶋田軍令部総長

海軍も
同様です



杉山陸軍元帥



永野海軍元帥



結局無謀な作戦は
強行すべきでないという
結論が繰り返され
天皇もようやく受け入れた

本土空襲を防ぐため
陸海軍の航空戦力を
早急に整えます

実行にあたっては
迅速に行うように



6月25日 正式に
サイパン島の放棄が
決定された

呉では戻った艦に電探や対空機銃などの
追加改装が急ピッチで進められていた

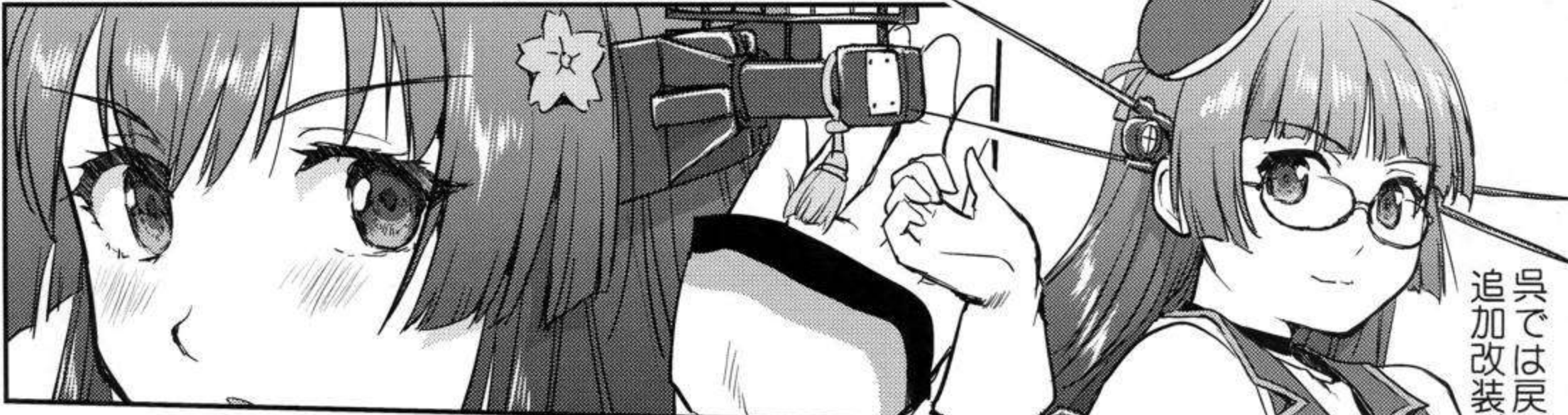
鳥海さんカッコイイ！
私は機銃を沢山付けて
もらいました

長門！お前達がいると
内地の石油が減ってしまう

改装が済んだ順に
さっさとリンガ泊地へ
行って訓練でもしとけ！

分かりました
訓練に入りますので
次の作戦を教えてください

次の作戦
などない



『あ号作戦』こそが
全てをつぎ込み
負けたら終りで
挑んだ決戦だった
終りの後に計画など
あるはずもなかった

それでも源田実の当初の計画に従い
3つの航空艦隊は創設されていた



6/15

『第2航空艦隊』

次の主力戦力



7/10

『第3航空艦隊』

マリアナ沖海戦に
間に合わなかった
八幡部隊が中心



確実なのは
まだ戦いが続くのなら
陸の飛行場と基地航空隊が
中心となりその整備に
全力が注がれるということ

連合艦隊の
水上部隊は不要に
なったのである

おー結構結構！
役に立たない大型艦は全部
瀬戸内海にでも繋いでおけ

海上護衛総司令部
大井篤参謀

そして残ってる駆逐艦50隻を
全部海上護衛に回すんだ！
南方資源の輸送量を増やし
運んだ燃料を航空機に使い

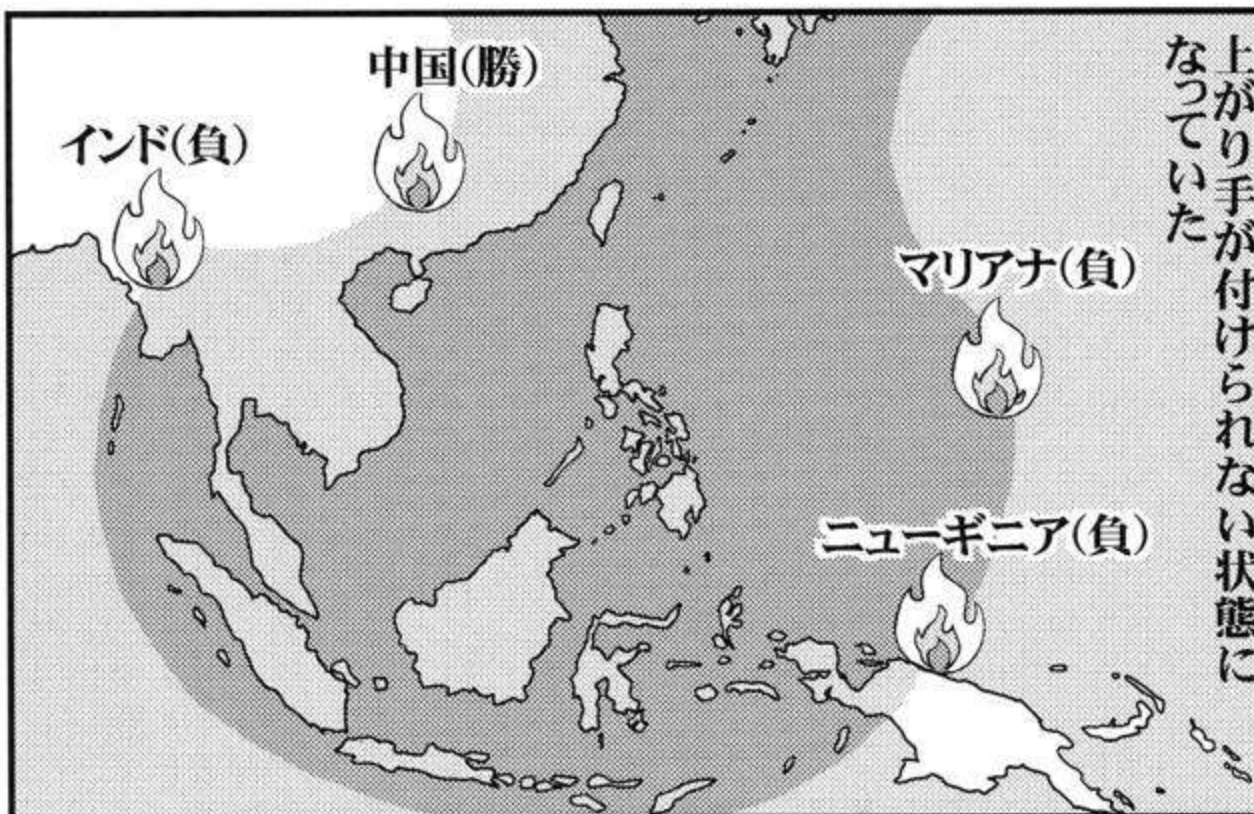
鳥海を1回満タンにする
燃料で銀河430機が飛ばせる

鳥海は敵巡洋艦を1隻
撃沈できるだけだが
銀河なら15隻撃沈できる

大井参謀は軍令部中に
ピラをまき護衛隊強化の
運動を行った

何だこりや
怪文書か

1944年6月
日本の戦線は各地で火の手が
上がり手が付けられない状態に
なっていた



ビルマ・インド方面

5月15日 秦参謀本部次長は
雨季に入ったインパール作戦の
視察から戻り東條に報告した
今すぐ作戦を
中止すべきです

そんな弱気で
どうする

軍の指導者という
のは戦局の良い面を
見なきゃいかんのだ

東條は露骨に不快感を示し
嘲るような態度で報告を
最後まで聞かず話題を変えた
参謀会議はシラケきった

俺が次長なら
飾りを引きちぎって
掴み掛かる...

もっと果敢に攻撃せよ
従わない奴は解任する
33師団はインパール
を攻略せよ！

すでに戦って
戦力を消耗したので
インパール攻略は
15師団が主導すべき



インパールで各師
団は攻めるところが
飢餓と病気で兵力が
減り続け作戦は完全
に行き詰まっていた

5月26日 牟田口と
非難の応酬の末
佐藤33師団長は
独断で撤退
これで英軍の
戦車部隊が
南下してきた

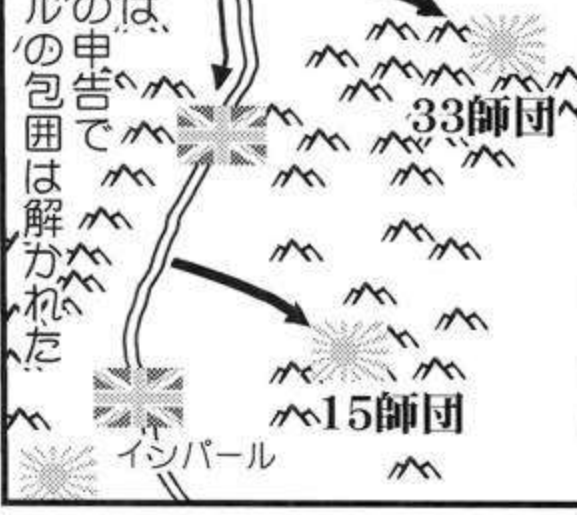
6月5日 戦線が崩壊するなか牟田口と
旧知の河辺ビルマ方面軍司令官は会談したが
建前の強気な会話に終止した

撤退を切り出して
くれれば賛成
するのだが：

牟田口は後退局面では
まともに指揮が出来ず
15軍は食料と武器を失って
総崩れで出発地を目指すという
最悪の状況を招いた

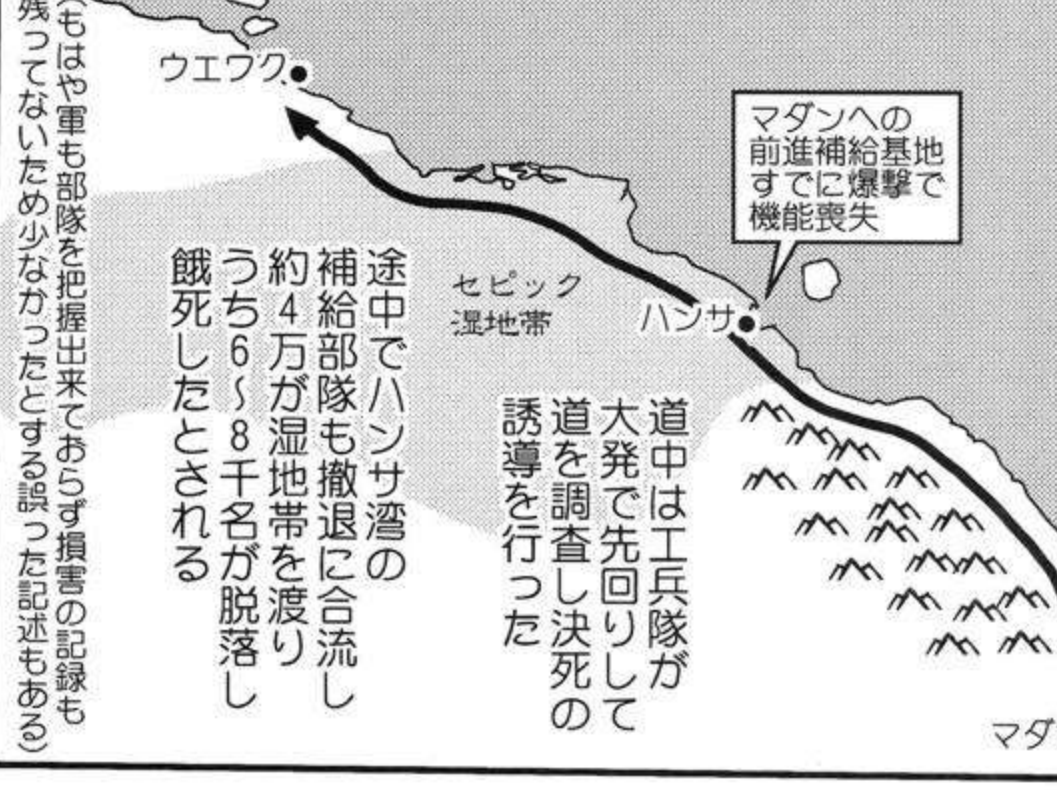
7月10日 最後に憎き佐藤師団長を更迭し
3万の戦死・餓死者を出してインパール
作戦はようやく中止となった

8月30日 ビルマの主戦力を壊滅させた
牟田口と河辺は解任され内地勤務へ戻った



東部ニューギニア方面

マダンから密林と湿地帯の中を後退した
18軍の20、51師団は
1、2ヶ月かけてようやく
ウエワクへ到着しつつあった



だがウエワクに着いてみると
執拗な爆撃で補給基地の面影はな
総人数が5万4千に膨れ上がった
18軍はたちまち窮地に陥った

18軍は後方への米軍上陸で
第2方面軍と連携が取れなくなり
南方軍の直属へと変更された

要域で持久を策し
全般の作戦遂行を
容易ならしむべし

南方軍の
寺内元帥は
具体的な命令は出さず
事実上行動の自由を与え
大本営もこれを追認した



きぐん
棄軍
(捨てられた
軍隊)

この追い詰められた
状況で18軍安達将軍が
下した決断は
まだ動ける者
3万5千を率いての
総攻撃だった

やせ衰えた
兵士達は最後の
食料を分配され
雨でぬかるむ
道を再び西へ
進んで行った

すでに暗号書も敵の手に落ち
攻撃計画は事前に知られて
砲撃を受けながらの前進となり
安達は後に「人間として耐えられ
る限界を超えた」状況だと言った



前線では物資の輸送が終わらない内に
飢餓が始まったため準備が整わないまま
7月10日に攻撃は開始された

いい奴が死んだら
一歩でもいいから
そいつの前で死ぬんだ

そうして遮二無二
アイタベを突破し
ホーランジアまで進む

敵陣を落としたり
敵の食料が手に入るとぞ！



米軍は日本軍が
夜襲をかけると
無理に戦わず後退し

日本軍が陣地で
食料を探し回る所へ
後方から狙いをつけ
ていた砲撃を行い
明るくなると
死体だらけの
陣地を奪回した

こういふ戦闘が
数箇所1ヶ月程
繰り返され
日本軍は急速に数を
減らしていった



西部ニューギニア方面

高原地域である者達は原住民と共生しある者達は略奪者となり原住民を殺し、まだ殺された

こんな所で文明社会のルールを守ることには何の意味がある！

飢餓と疫病による死者は増え続け生還者が多くを語らない

人肉食が広く行われたと言われる

8月4日 1万3千の死者を出して攻撃中止命令が出された

18軍は最初の防衛線すら突破できず犠牲の多い戦いを繰り返したことからこの作戦は『減らし』が目的ではないかと噂された

安達は残った兵力を標高が高く密林の浅い原住民の村が点在する高原地域に撤退させた

撤退路は1万数千名が落伍し死体で出来た道『白骨街道』と呼ばれた

その後18軍は食料を求めて少人数で広い地域に分散し自活の道を探った

7/31 サンサポール上陸 日本軍380名戦死

7/30 ミッテルバーグ島 アムステルダム島 無血上陸

7/2 ビアク島陥落

7/2 ヌンホル島上陸 5日には組織的抵抗終了

7/1~9月 『死の行軍』 9割以上が辿り着けず餓死

マノクワリ 6000

ソロン 5000

2軍 10000

1500

7400

司令官は飛行機でソロンへ後退したが残る兵は徒歩で2~300kmの移動のうえ何も誘導しなかつたため殆どが密林をさまよひ抜けられなかった餓死していった

決断をした

部隊を後退させる

上陸を恐れて

ビアク島の次の

作っていた2軍は

マノクワリで飛行場を

しかしサルミの

36師団は戦闘の

邪魔になると合流を

許さなかつた

敗残兵は川を超えたら銃殺する

36師団

トル川

7000

『死の行軍』 撤退7000名中5000名が餓死 人肉食が発生

命令を無視して2000名が上流を渡河 自活を始めるが1660名が戦死・餓死

西部では絶対国防圏の前線となるはずだった

ホーランジアを奪われた

日本軍はジャングルを歩いてサルミへ後退した

西部では絶対国防圏の前線となるはずだった

ホーランジアを奪われた

日本軍はジャングルを歩いてサルミへ後退した

しかしサルミの36師団は戦闘の邪魔になると合流を許さなかつた

敗残兵は川を超えたら銃殺する

36師団

トル川

7000

『死の行軍』 撤退7000名中5000名が餓死 人肉食が発生

命令を無視して2000名が上流を渡河 自活を始めるが1660名が戦死・餓死

ニューギニアの戦いは何故こうも悲惨な結果になったのか

服部卓四郎作戦課長は『本土決戦』の覚悟を固めた

すなわち陸軍ももう戦争に勝つ見込みはなくなつたのである



ニューギニアは予想以上の早さで突破され海軍は半年で早々に決戦を挑んで敗れてしまった

さらにサイパン戦で二ミッツだけでも陸軍以上の戦力があると分かり参謀本部のシナリオは狂つた

フィリピンでの決戦準備は間に合わないことが明らかとなつた

アメリカとの武器の差がやっと分かつた

だがもう間に合わない

陸軍服部作戦課長

海軍山本作戦課長

日本で地図を見る限りニューギニアは一つの大きな島に見えた

だが実際は人間の通れない密林は海と同じで海の中に孤島が存在するだけだつた

大本営は陸のつもりで長距離の移動命令を連発し戦う前に戦力を失つた

またマタン喪失後の次の敵上陸はハンサカウエワクだと判断を誤つた

方面軍の阿南将軍も後方の上陸した米軍を挟撃しようとしたがジャングルを移動しての挟み撃ちなど到底出来るものではなかつた

今年中にフィリピンに上陸してみせると言つたのは決してハッターリではなかつたのだ

フィリピンにいたマツカーサーとオーストラリア軍はこういう事をよく分かつていた

今年中にフィリピンに上陸してみせると言つたのは決してハッターリではなかつたのだ

戦闘は翌20日に及び
その間 敵航空母艦5隻
戦艦1隻を撃沈破
敵機約百機を撃墜せるも
決定的打撃を与ふるに至らず

広島県 呉

我方航空母艦1隻
付属輸送船2隻及び
飛行機50機を失えり

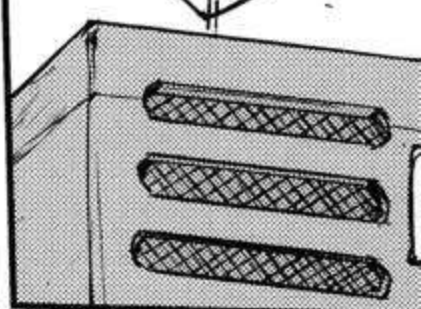
何じゃあ
マリアナで
勝ったみたい
言うとするのう

……やっぱ
ボーゲンビルとかも
勝ってなかったのかな

大本営でも講和派が動き出し
戦争指導課課長の松谷誠大佐が
東條に進言した

残念ながら
絶対国防圏は
破られました
連合軍と講和交渉に
入るべきです

松谷は翌日東條によって
中国戦線へ飛ばされた



2キ

- 英機(軍) 東條
- 傀儡政府 星野直樹
- 3スケ 岸信介(傀儡政府予算)
- 松岡洋右(満鉄)
- 鮎川義介(財閥)

戦争に負けては
満州権益どころか
日本がお終い
である



そして満州で東條ら関東軍と組んで
権勢を誇り『2キ3スケ』と呼ばれた
実力者の一人・国務大臣『岸信介』も
この頃になると東條に見切りを
つけていた



陸軍 津野田知重少佐
手榴弾で爆殺計画
海軍 高木惣吉少将
機関銃で射殺計画

東條の家にはイタズラ電話が
何百本も掛かり家人を怯えさせた



東條が行った『非常事態宣言』からの
国民生活の締め付けは当然ながら
大気低下と不満の高まりを招いたが
サイパン陥落で拍車がかかった
ご主人は
サイパンの責任をとって
もう自決しましたか?

満州では世界恐慌の影響を受けなかった
ソ連を参考に岸信介らによって国家
統制による計画経済政策がとられた
産業部門ごとに日本人財閥の企業に
独占させて満人の参入を認めなかった
政府と企業は強力に癒着して
実力者へのコネと賄賂が支配した
『2キ3スケ』は満州で得た資金力で
日本国内の政治や陸軍内にも
大きな影響力を持つようになった
国連はこのような満州を独立国とは
認めなかったため外相になっていた
『3スケ』松岡は独断で国連を脱退した

当時アジアの植民地ではアメリカの
フィリピンを除き列強がもたらした
アヘンが嗜好品として広まっていた
やがて国際条約で
アヘン輸出が禁止されて
列強が徐々に手を引くと
後に巨大な需要が残された
それを主に満たしたのが日本で
表の国家専売と裏の密造密売で
中国から大量の銀を得ることが出来た
これも満州と関東軍の収入源だった



日中戦争が始まると日本軍はアヘン
産地に侵攻し占領地内で売りさばき
戦費や傀儡政府の予算、軍の機密費
などを賄った

『毒化政策』は
日本の国家犯罪だ

蒋介石は国連で
アメリカと共に激しく非難
38年の決定的なジュネーブ阿片会議で
日本を国連の条約からも締め出し
同じ年に経済制裁を決議させた



国際社会から閉め出された日本は
その後も『興亜院』という政府機関で
密造アヘンの輸入や売買を仲介し
巨額の利益を上げ続けた
国際法違反は
分かっていたが
我々の戦争は阿片なし
では成り立たなかつた
スポンサー岸信介の尽力で
首相にまでなった東條は
太平洋戦争でも中国での
やり方を踏襲した
南方を占領した42年8月に
主要閣僚を集めた興亜院会議で
『大東亜共栄圏確立の鍵は阿片政策』
とハッキリ打ち出していた

証言した
密売人
『阿片王』里見
政府依頼
裁判東京

倒閣の動きは重臣達でも始まった

戦局の悪化は誰もが感じていたが
実情は大本営でも一部の者しか
知らなかつた

しかし
重臣(元首相)の中に
市中に居ながら細かい
戦況まで知っている者がいた

海軍大将 岡田啓介



岡田は長男の貞外(さだとむ)が軍令部参謀
義弟の娘婿が参謀本部の瀬島龍三
娘婿が内閣の迫水久常と
身内に国の中核の者が揃っていて
定期的に会食して
詳細な情報を得ていた



※但し蒋介石も国内アヘンの放置を非難されていた

※日本の首相は内大臣と重臣会議の話し合いで選ばれていた

岡田も戦争はすでに負けたことを知り、東條内閣倒閣の決意をした。これが最後の奉公だ。ともかく海軍として嶋田を引きずり降ろそう

そこで開戦前に海軍内の有力者だった対米強硬派の末次大将と反対派の米内大将に現役復帰と協力を持ちかけた。今は非常事態だ。日本のために仲直りしてくれないか。国を救おうという時に個人の感情などどうでもよろしい。喜んで協力しましょう。末次

三人は海軍の大將會議で嶋田を問い詰めた。『海軍は嶋田の交代を望んでいる』という空気を演出した。高木や神も便乗した。米軍を撃退する具体的作戦を聞いてる！なぜ殴り込まないんだ。私なら大和か武蔵でやってみせる！すでに敗北したと思ってる。嶋田は反論できず沈黙した。

岡田はこれに先立ち一年程前に娘婿の迫水を使わして木戸内大臣の腹を探ったことがあった。戦局は悪化を続けてる。東條は軍に専念させて内閣を一新してはどうでしょうか。内大臣の役目は『国民の声』を陛下へ伝えることで自分の判断でそんなことは出来ません。ただ：例えば、あることに重臣の意見が一致してるならそれも一つの『国民の声』と言えるでしょう。

木戸内大臣の『意』を受けた岡田は重臣達を集めて状況を説明した。東條はインパール作戦などというあきれた作戦を推し進めて統帥としての正気を失ってる。戦局を正確に把握してるかも疑わしい。日本を救うには一刻も早く辞めさせなければ。陸軍大将の阿部以外に異論はなかった。

これを知った東條は憲兵隊を使い重臣達に『警告』を行ったが却って反発を招いた。いつそ重臣共を逮捕しますか。そんな事をしたなら内乱が起こる。

東條は内閣改造で重臣達の不満を鎮めようと木戸に相談に出向いた。まず大臣や総長を兼務する異常な状況をやめること。海軍の支持を失ってる嶋田大臣を変えること。改造内閣には重臣を一人入れることです。それは一体誰の考えなんだ。陛下です。

東條はやむなく参謀総長をやめ後任を同期の後宮大将にしようとしたが。後宮大将では部内はまとまらない。梅津大将か畑大将ならまとまるでしょう。大佐が大将の人事に口を出す程参謀本部の権限は強かった。服部卓四郎の反対で自分の派閥ではない関東軍司令官『梅津美治郎』を選ぶしかなかった。

嶋田も大臣更迭を受入れた。東條は涙を流して別れた。済まない身を引いてくれ。分かりました。私は肩の荷が下りますが閣下は大変でしょう。善戦して下さい。

後は重臣を入閣させるため大臣に一人辞任してもらわないといけない。東條内閣ではこれまで書記官長になっていった『2キ3スケ』の一人星野直樹が意に沿わない鈴木国務相、賀屋大蔵相などを辞めさせていた。星野は今度は同じ『2キ3スケ』の岸信介に辞めるよう言った。しかし岸は星野と東條の要請を跳ね付けた。

もう改造は諦めて総辞職した方がいい。重光外相

7月17日重臣達は集結し東條から要請があつても改造内閣へ入閣しないことを全員で確認し内閣更迭の決議書に署名した。陸軍の阿部だけは東條の話聞いてからと主張したが退けられた。

東條は18日未明に阿部の使いで
これを知った

内府(内大臣)と
重臣共の画策か

条件を出しておいて
片方でそれを拒むとは
けしからん奴らだ

これで東條は天皇の求めに
応えられないことが明らかとなり
辞めざるを得なくなった

決議書は木戸によって上奏された

本日東條が
辞任の挨拶に参ると
思いますがお引止め
になりませぬよう

それは重臣達の
考えなのか

東條は天皇からの直接の引き止めに
最後の望みをかけていたが
天皇は一言発したのみだった

そうか



後継について何か
意見がありますか？

今回のことは
重臣達が動いた結果だ
彼らに聞けばよからう！

7月18日

東條内閣総辞職

『東條幕府』とまで言われた
権力集中のあつけない
幕切れだった



ただし
この時点ではまだ陸軍大臣として
新政権に残るつもりだった

次の首相を選ぶ重臣会議が開かれたが
倒閣のことばかりで決まっていなかった

これからの戦いを考えて
陸軍大将から選ぶべきだ

- 12期生 南方軍 寺内寿一
- 12期生 支那派遣軍 畑俊六
- 12期生 朝鮮総督 小磯国昭

ただし今現在
戦場で指揮を執ってる者は
呼ばない方がいいだろう
……
残るのは
一人だ

小磯国昭

順番で首相が回ってきたのは
こいそくにあき
ただ海軍とも協力体制が取れるよう
よないみつまさ
米内光政にも海軍大臣として
大命が下る二人体制となった

7月22日

小磯内閣成立

俺だけじゃ
ないのか



東條の陸軍大臣留任は
大臣を決める陸軍三長官会議で
梅津が反対し逆に東條と仲の悪い
『マレーの虎』山下大将を推した

前政権の
色を残す
べきじゃない

東條は杉山以外認めないという
発言力を使用するのが一杯だった



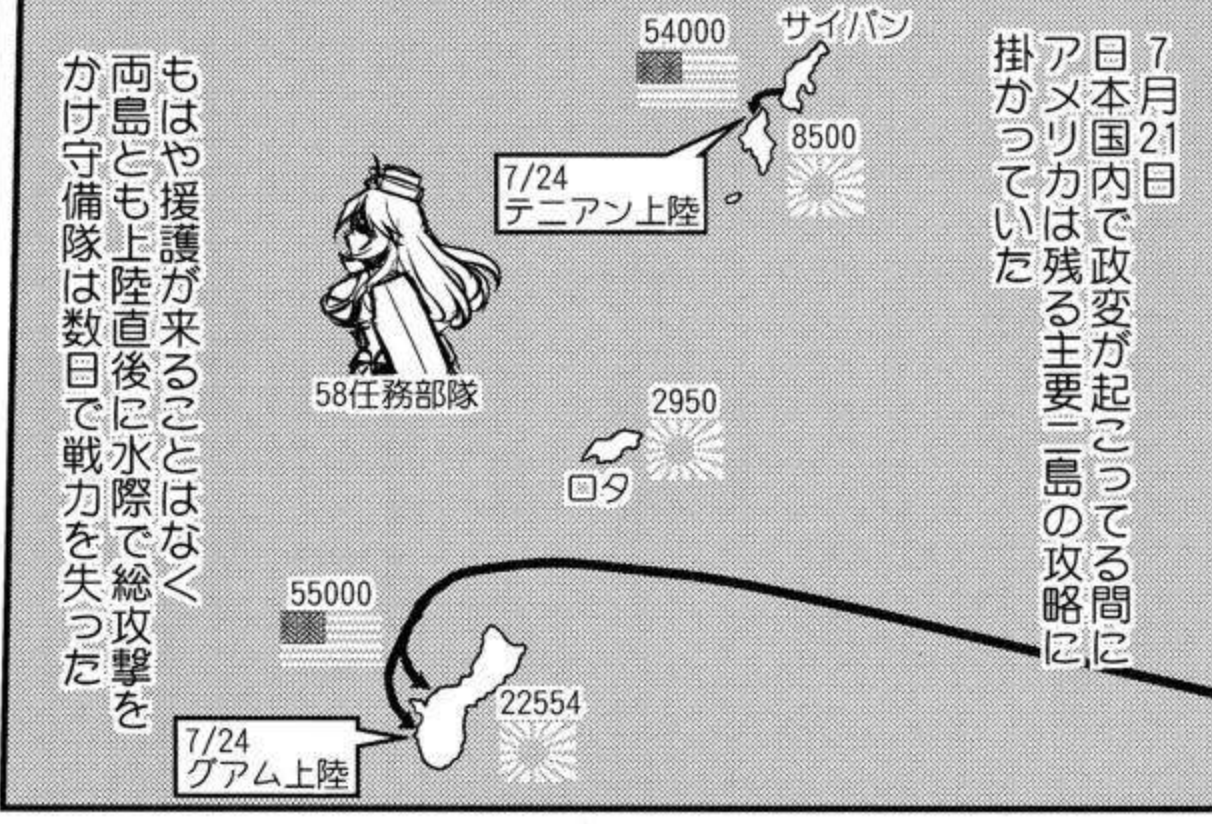
東條は全ての役務を失い
予備役となつて
戦争の舞台から退場した



これ以後は重臣として
呼ばれた時だけ登庁し

終戦まで自宅で家族と
農作業などをして過ごした

7月21日
日本国内で政変が起こっている間に
アメリカは残る主要二島の攻略に
掛かっていた



もはや援護が来ることはなく
両島とも上陸直後に水際で総攻撃を
かけ守備隊は数日で戦力を失った



航空機を全て失っていた第二航空艦隊
の猛将角田は最後は兵士に混ざって
パンザイ突撃を行い、フィリピンは19日で
陥落した

グアム島は激しく抵抗したものの
米領だったため道路が整備されていて
戦車の進撃が早く3週間で陥落した

31軍の小畑司令官は
サイパンへ戻れないまま自決した

唯一勝っている
中国方面でも
大陸打通作戦で沿岸の
飛行場を潰している最中に



爆撃は製鉄所の敷地内に
1発しか落ちない失敗となったが
内地への空襲を予防するという
大陸打通作戦の意味は失われた

7月24日 大本営は大急ぎで
サイパン喪失後の方針をまとめ
『陸海軍爾後の作戦指導大綱』
として上奏し裁可を受けた



8月19日の御前会議で小磯内閣の
『今後採るべき戦争指導の大綱』
として正式に決定された

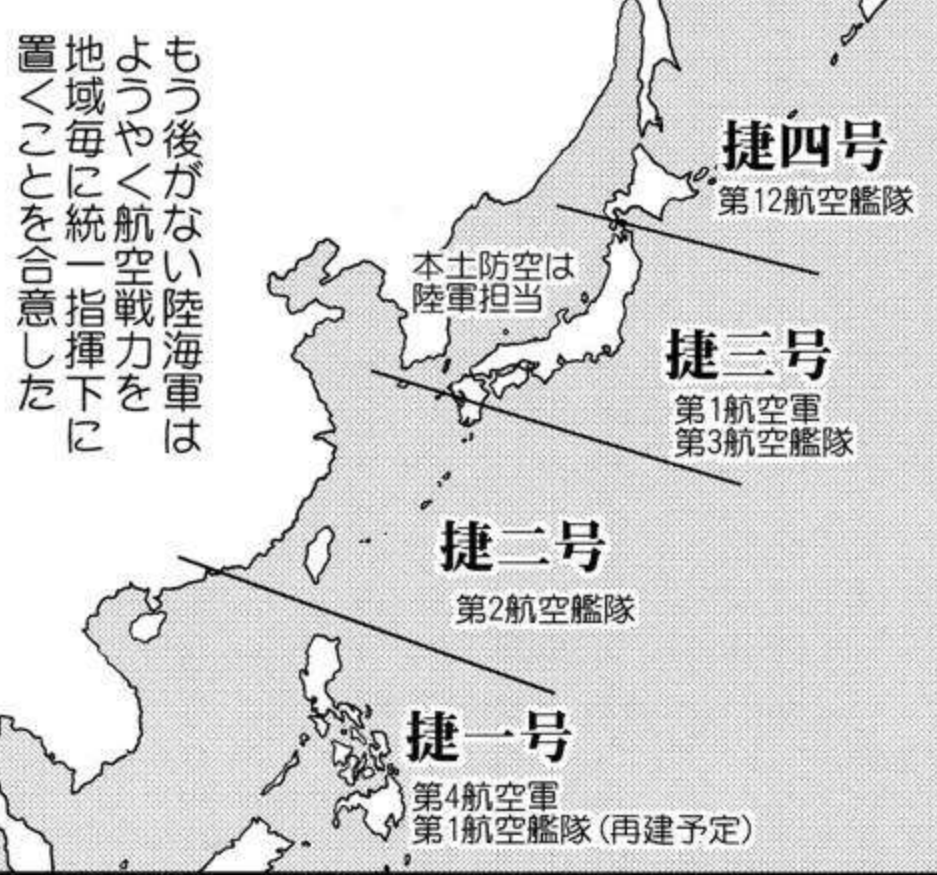
8月2日 米内海軍大臣は作戦を
まとめ終えた嶋田を軍令部総長から
解任した



後任には
海上護衛総司令部の
及川大将が就任した

新しい作戦は
『捷号作戦(勝利作戦)』
と名付けられた

今度は陸軍主導の決戦である
陸軍はフィリピンに
決戦を求めていたので
捷一号がメインとされ
海軍はそれに協力するような
形になっていた

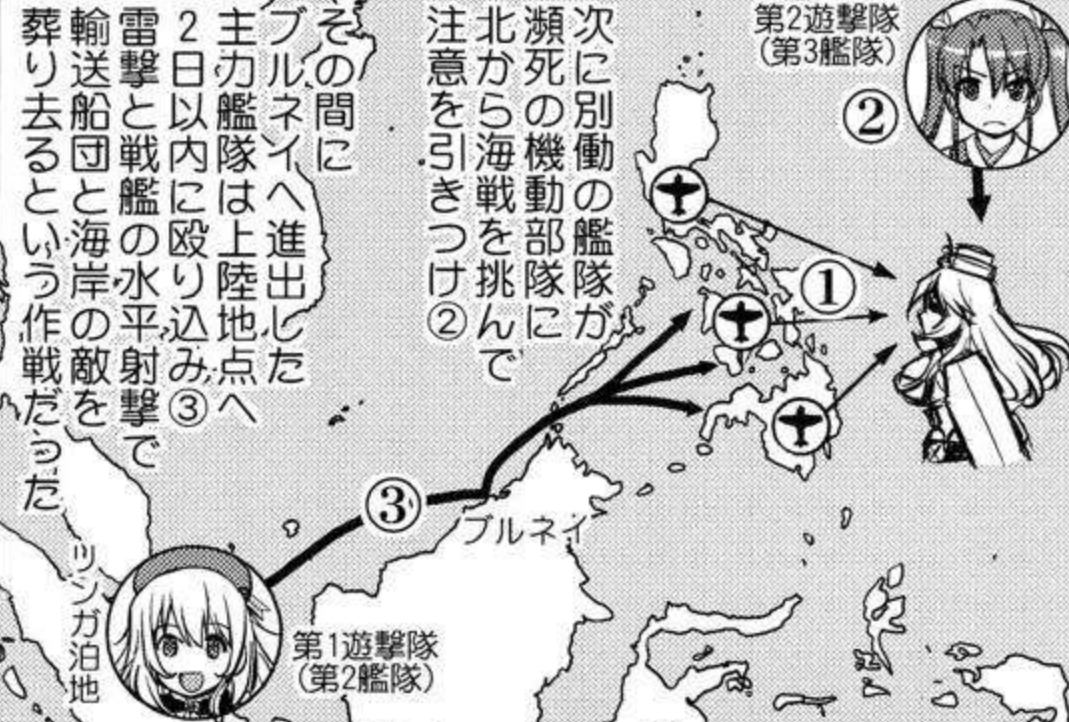


もう後がない陸海軍は
ようやく航空戦力を
地域毎に統一指揮下に
置くことを合意した

海軍の作戦は豊田連合艦隊司令長官と
殴り込みを主張していた神重徳参謀の
意向が反映されたものとなった



敵上陸部隊が現れたら
まず陸海軍協同の基地航空隊が
総力を上げて機動部隊を叩く①



次に別働の艦隊が
瀕死の機動部隊に
北から海戦を挑んで
注意を引きつけ②

その間に
ブルネイへ進出した
主力艦隊は上陸地点へ
2日以内に殴り込み③
雷撃と戦艦の水平射撃で
輸送船団と海岸の敵を
葬り去るといふ作戦だった

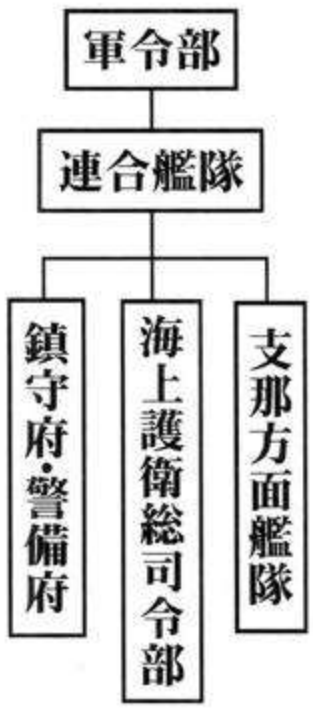
この迎撃作戦に加え、あくまで強気の
源田参謀は米機動部隊への攻撃専門
航空隊を2航空艦の下に編成した

空戦で劣勢なら
母艦機が飛び立てない
夜間か台風下に攻撃する



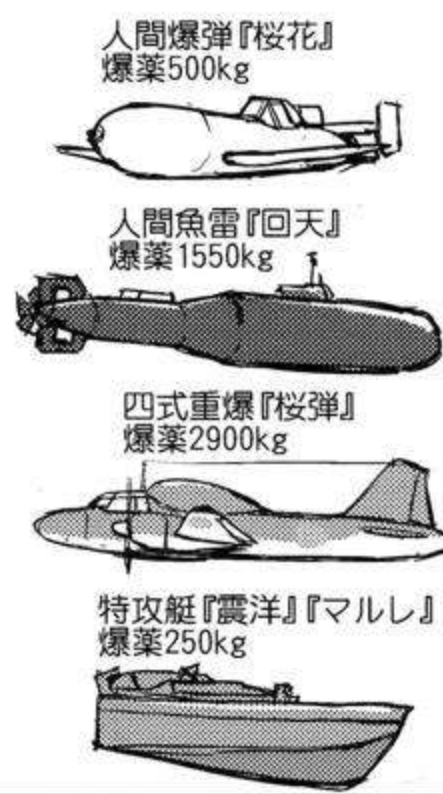
現時点での精鋭
200機ほどを集めたこの航空隊は
『T(タイフーン)攻撃部隊』
と名付けられた

8月には全ての戦力が連合艦隊司令部の指揮下に入れられた



海軍は海上の役割分担も止めて何もかも次の戦いに注ぎ込める体制を固めた

密かに準備している『特殊攻撃兵器』の完成と投入時期も検討されていた



同時期にアメリカでは

7月下旬 1隻の米重巡『ホルチモア』がアメリカ本土から真珠湾へと向かっていた



もはや勝敗は問題ではない『どう勝つか』の問題だ

アメリカで最も偉大な大統領は誰か？

この問いで米国民に選ばれるのは不動の三人である



三人の中で誰が一番かは議論が分かれるが三人以外から選ばれることはない

そのルーズベルトは考えていた

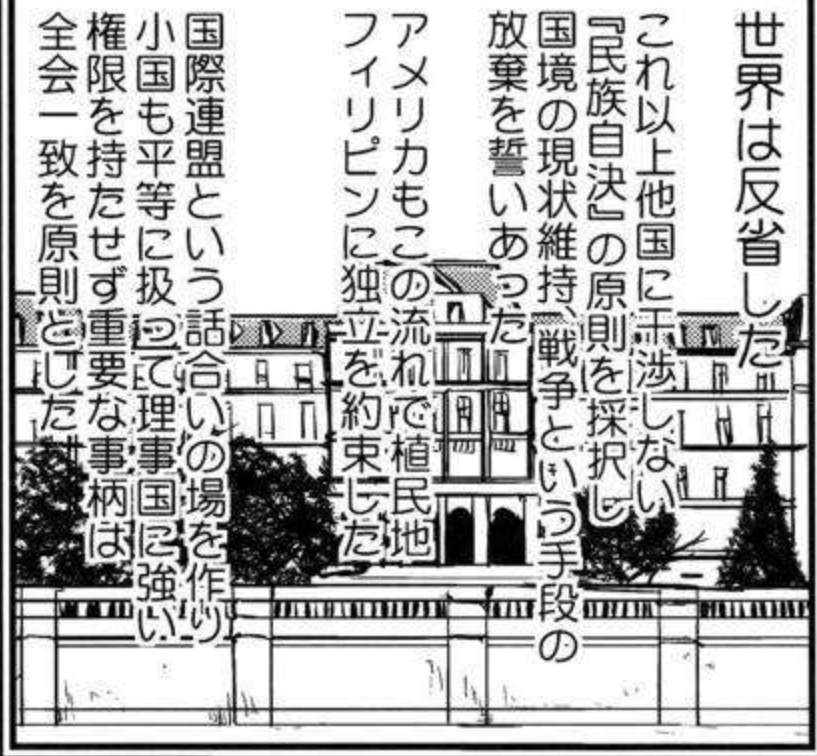
世界が民主主義を土台とした自由主義経済へ向かうのは歴史の流れだ



イギリス人には悪いが植民地の回復にアメリカ人の血を流すつもりはない



19世紀から20世紀に進められた列強の帝国主義と植民地政策。それは列強同士の対立を招き、第一次世界大戦を勃発させ、最終的に1,600万人の死者を出す悲劇となった。



世界は反省した。これ以上他国に干渉しない『民族自決』の原則を採択し、国境の現状維持、戦争という手段の放棄を誓いあつた。アメリカもこの流れで植民地、フィリピンに独立を約束した。



『民族自決』の原則は植民地の反乱と過激な国家主義者の台頭を招き、国際連盟は話し合いを無視して国境を変更する勢力を止められなかった。そして：世界は再びかつて前回以上の大戦争に陥った。

現実主義者を自認するルーズベルトは理想主義的な建前にもう期待せず。世界の平和と安定は圧倒的な軍事力と経済力という具体的手段でコントロールするべきだと考えた。

我々は失敗を繰り返すつもりはない



アメリカは不干渉の原則で国際連盟に参加しなかったが結局戦争に巻き込まれた

今度は理事国の強力な『国際連合』を作る

混乱と争いの元となる各国の経済問題にも干渉し

国際通貨基金 (IMF) 世界銀行 (IBRD) 関税貿易一般協定 (GATT) の前進

などで調停・指導する『ブレトンウッズ体制』と呼ばれる国際経済システムを発足させた

43年1月の『カサブランカ会談』での会食中にルーズベルトはチャーチルに突然提案した

枢軸国に無条件降伏以外受け入れないと宣言しましょう



はははは これを聞いた時のゲッベルスの顔が見れないのは残念です

※ゲッベルス：過激な演説で知られるナチスの宣伝相



このことは大統領付参謀長のリーヒですら記者会見で発表されるまで知らなかった

大変なことに なった！



ルーズベルトの性格は複雑でなかなか捉えるのが難しい



ただ一つ周りの意見が一致するのが ゆるぎない自信家 だったことである

会話中にくすくす自分の構想やアイデアを語り出し一旦始まると止まらないので「大統領に意見を伝える時は食事中にしろ」と言われた

この男は オレにすら 選挙民相手のような話し方をする

しかもそれ程語り続けるのに大統領の真の狙いがどこにあるのか側近ですら容易には分からなかった

アジア米軍総司令官 スティルウェル

世界に新秩序を作ろうというルーズベルトだがしかしこの頃持病のポリオが悪化し目に見えて身体が衰えてきていた

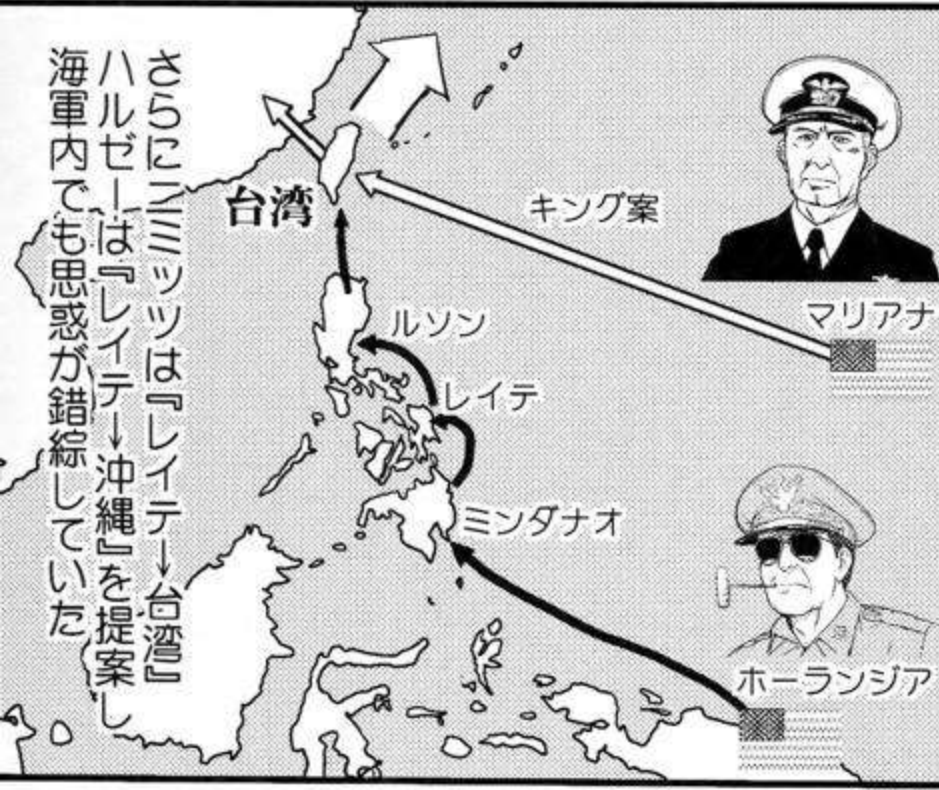


7月28日 「どう勝つか」で意見が分かれる海軍とマッカーサーの主張を大統領が判断・調停するため「ハワイ会談」が開かれた



もう一つの目的は政敵の共和党が国内人気抜群のマッカーサーを大統領選に出馬させると聞き本人の腹を探るためとも言われた

台湾への競争は海軍の勝ちだったがキング案の中国沿岸部への上陸は中国が敗退を続けているせいで問題が生じていた



さらにニミッツは『レイテ→台湾』ハルゼーは『レイテ→沖縄』を提案し海軍内でも思惑が錯綜していた

マッカーサーはルーズベルトが痩せ衰えているのに驚いたが構わず自説を主張した

統合参謀本部も 必要がないと 反対している

フィリピン開放は 米国の道義的義務です 同盟国を決して見捨てないと 証明しないと いけません 米国人捕虜も待ち望んでます

しかし大規模な地上戦となれば多くの死者が出る

大統領！ 正面から攻撃を掛ける時代は終わりました 兵器の進歩は凄いです 大きな損失を出すのは 平凡な司令官だけです

ニミッツ閣下の 同意も得ています

マッカーサーは3時間もまくし立て ルーズベルトはたまらず自分から休憩を要求した



あの声を3時間も聞かされて頭痛がする 薬をくれ





分かった

そうか

はは…



それを放って
選挙のために帰国する
ことなど考えておりません

大統領！ 今私がやらな
ければならないのは
フィリピン解放です

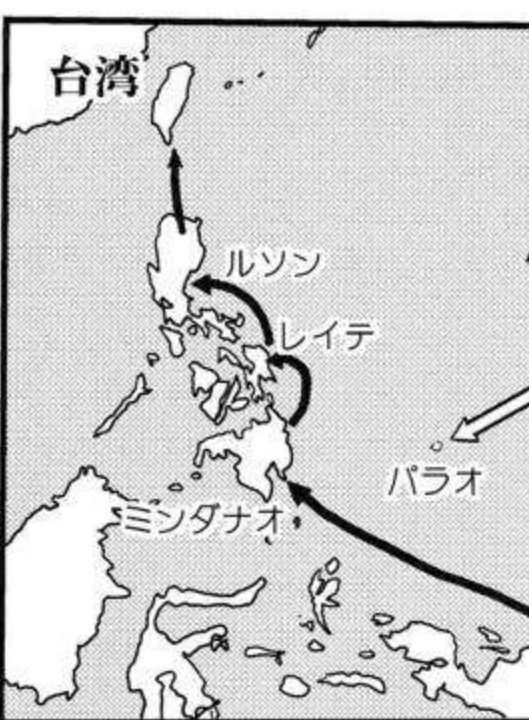


ところで将軍
共和党から君を指名する
動きがあるようだ…

その後マッカーサーが
あまりにもフィリピン攻略の
話ばかりするので

こうして日米
双方の陸海軍は
フィリピンで激突
することとなった

その後
共和党に指名された
マッカーサーは
選挙運動を一切行わず
党内の予備選挙で
他の候補に敗退した



ルーズベルトは
やや冒険的なキングの案をやめ
確実に戦線を押し上げる
マッカーサーの案を採用した
海軍はこれに協力するよう命じ
アメリカ側も次のフィリピン
侵攻は陸海軍が連携して
行うこととなった

7月末〜8月初旬 マリアナ攻略を終えた
スプルーアンスはハルゼーと交代して休暇に
入る前に最後にもう一度
近隣一帯の偵察や空襲を行った

小笠原諸島

スナップショット作戦 (7月下旬)

スカーベンジャー作戦 (8月4・5日)

二等駆逐艦『松』 輸送船16
撃破 航空機14

小笠原輸送作戦は大打撃を受けた

58任務部隊

マリアナ

パラオ

小笠原諸島唯一の飛行場適地・硫黄島には
栗林中将が赴任したが現場の司令官は
戦況を知らなかった

海軍のために飛行場を
守り抜くのが任務だ

連合艦隊なんて
マリアナで負けて
もう残ってませんよ！

7月29日 サイパンへ送れなかった増援部隊は
最前線となった小笠原諸島へ輸送された

雑用にゃあ

第5艦隊

父島

硫黄島

29日の『瑞鳳』便を皮切りに8月上旬の間
横須賀にいた第5艦隊が護衛にあたった

8月10日 竣工
『天城』

二隻で新しく『一航戦』が編成されたが
601航空隊の再建は進んでおらず
当面やることは何もなかった

同8月 エセックス級11隻目
『ベイントン(CV20)』竣工

8月上旬 ミッドウェー敗戦後に
急いで作り始めた空母(飛龍の
簡略型)一隻目がようやく完成した

8月6日 竣工
正規空母『雲龍』
搭載 新型機57

何だっつて!?

私ら
全員に

艦隊でなく
輸送船を目標に
敵中に突入し
つて言うのか

何だその
口の効き方は!

司令部は
お前達のために花道を
作ってやったのだぞ!

ペラペラの輸送船と
刺し違えて死ねって
ことか...

神参謀 私達はこれまで
あくまで敵主力を相手にする
訓練を積んできました

ひとつお聞きしたい

一体司令部はこの作戦で
水上部隊を全部潰しても
いいと考えてるのですか?

フィリピンを取られれば
南方の石油も断たれて
艦隊は終わりだ

この一戦で艦娘は
全部スリ潰しても構わない

オイ

よく分かりました
豊田提督がそれ程の
決意でおられるのなら

御命令通り
輸送船団に
突っ込みましょう

ただし...途中で
敵主力と遭遇した場合は
こちらの意図に関わらず
戦闘になると思われます

その時には
敵を撃滅に
向かうのは差し支え
ありませんか

そういう時は...
構わない

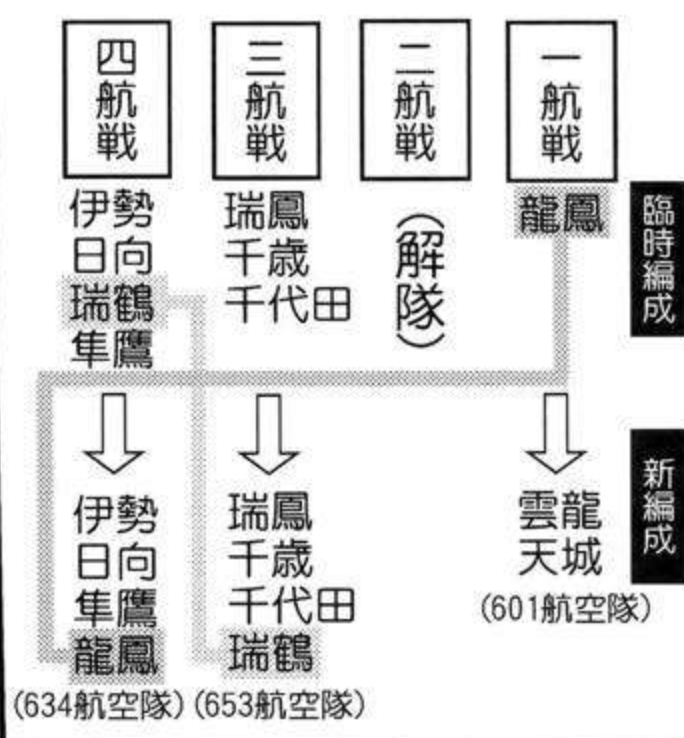


同じく8月10日
瀬戸内海 呉

ねえー
瑞鶴さあーん

やる気出しましょうー
よおー

空母部隊もマリアナ敗戦後の臨時編成から『捷号作戦』に向け再編された



せつかく
三抗戦でまた
一緒になれたん
ですから

私達を引っ張って
行つて下さい

ダメだよ
ヤツらには
もう勝てない...

空母対決だけが
仕事じゃなくて
艦隊の上空護衛
もあります

何かあったって
航空隊をまた
一から訓練する
のに...

やる気出しましょうー

ちよッ
瑞鳳!?

何やって...

ちよッ
瑞鳳!

ちよッ
瑞鳳!

何やって...

ちよッ
瑞鳳!

私達三航戦は
瑞鶴さんに
付いていくと腹を
くくつてるんです

いーえ
離れませんか!

瑞鶴さんがやる気を
出すまでこの瑞鳳
断固くついて
千歳をし続けます!

...あー

分かったわよ...
訓練するから
今ある653航空隊の
矢を持ってきて

ハイ!
ただ今ッ!

海軍がフィリピン決戦に向け
体制を整える中

陸軍大本営も
自信のあつた
サイパンでの
敗退を受け

戦闘方針の
大転換に
踏み切つた

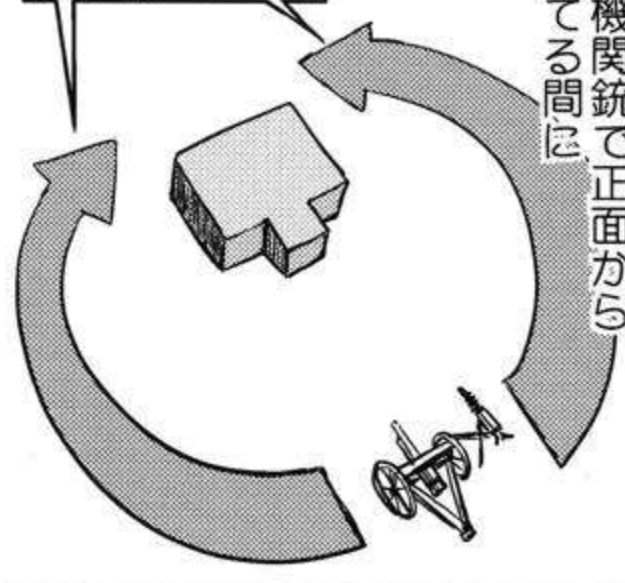
44年半ばのこの頃
ようやくブーゲンビルや
ニューギニアでの連合軍との
戦闘報告も戦訓として
まとめられた

対支戦闘において
戦果を挙げたる部隊も
米軍の弾丸鉄壁に対しては
攻撃意の如く進捗せざる
ことあり

従来の遠距離より
喊声を挙げて
突入する攻撃法は
不成功に終わる

日本陸軍の戦法は
大砲や機関銃で正面から
攻撃してる間に

白兵突撃部隊
銃剣のみで
射撃禁止



歩兵が回り込んで包囲し
奇襲突撃する『浸透戦術』である

しかし中国兵に逃げる時間を与える
遠距離から大声を出しての白兵突撃
は米軍に全く通用しなかつた



これはすでにヨーロッパでは第二次
世界大戦で打ち破られた戦法だつた

だが装備、訓練、教育ともに
この戦法を前提にされてるので
今さら急には変えられない

日本軍は白兵突撃を10数mの
至近距離まで縮め



重火器も可能な限り
同行させるなど
細かい改善を行つてはなかつた

8月19日 陸軍大本営は
『島嶼守備要領』を発表

上陸した米軍に
白兵突撃で攻勢を
仕掛けるのは
戦力の喪失を早める
だけとして禁止

陣地で粘つて時間を稼ぐ
『遅滞戦術』を命じた

本土決戦の
準備に時間
がいる



最大の難題は 『戦車』だつた

米軍は日本軍がアメリカのM4中戦車を
正面から撃破できないと分かると日本軍
陣地の150m近くまで接近して居座り
攻撃してきた銃眼や
洞窟を一つ一つ
潰していった

どんなに堅固な洞窟陣地を構築しても
時間を共に必ず最後は突破された
これは第二次世界大戦の戦い方だつた



この歩兵を支援する戦車には更に強力な
戦車を投入して戦車戦で撃退する
お互いかに大量の強力な戦車を集中
出来るかが第二次世界大戦の戦い
時代に立ち遅れた日本陸軍はもはや
その差を埋める準備も設備もなかつた

8月7日 まで活躍してきた
軽巡『長良』が鹿児島から佐世保へ移動中に
米潜『クローカー』の雷撃で撃沈された



こんな
所にまで
来てるなんて

戦線の後退で活動範囲が狭まる
のと逆に作戦中の米潜水艦は
過去最大の40隻以上に増えており
航路の脅威はますます大きく
なつていた

8/7『長良』移動中に
『クローカー』が撃沈

7/19『大井』移動中に
『フラッシャー』が撃沈

8/18『名取』輸送中に
『ハードヘッド』が撃沈

8月18日には『ヒ71船団』と陸軍の
フィリピン兵員輸送船団が合流した
27隻の大船団が『魔のバシー海峡』で
米潜6隻に次々と襲われ18隻が沈没
ギユウギユウ詰めになされた
兵員8千名と重火器・物資が
為すすべなく海没した

護衛していた
海上護衛総隊の護衛空母『海鷹』と
22日に反撃に向かつた海防艦
『佐渡』『松輪』『日振』も
全て返り討ちに会い撃沈された

だが翌々日の24日に現場に救援に来た
『海防艦22号』は『ハードター』を撃沈し
僅かながらの仇討ちを果たした



えい！
えい！！
えい！！
やった！

8月26日

スプルーアンズの第5艦隊司令部はハルゼーの第3艦隊司令部と交替し艦隊を引き継いだ

これに伴い『58任務部隊』も、『38任務部隊』へと名称が変更された



マリアナ攻略を成功させたスプルーアンスだが実は日本の空母が沈むまで時間が掛かったためアメリカ側は戦果を知らなかった

オレならジャップの艦隊を撃滅していたな



そのため消極的な指揮で日本の機動部隊撃滅のチャンスを見すみす逃した司令官だと逆にバッシングを受けていた

第3艦隊
ハルゼー大将

そこへワシントンから海軍で最も口の悪い男がやって来た



海軍
兼 作戦部長
合衆国艦隊
司令長官



何を
言われるやら...



実は：日本軍は本国にまだ有力な予備艦隊を残していたという情報が入っている

※...四航戦や第5艦隊のこと

パカ共が騒いでいるようだが深追いしなかった君の判断は正しかった



八方美人で信用できんニミッツや頭の悪いハルゼーにて比べて

君は海軍で一番頭がいいな



千葉県 木更津

大淀です

連合艦隊司令長官の相次ぐ戦死で

私も日々木更津と軍司令部のある霞が関を往復する勤務だったので



新しい豊田長官は前線には出ず木更津に停泊した『大淀』から指揮を執ってました

私も遂に艦娘として前線に出ることになりますが戦局が悪化を続けているというのに

軍司令部を訪れるほど緊迫感のない平穏な時間が流れていて不思議な感じですよ



緒戦の頃には占領地へ進出を望む企業で請願の行列ができていた海軍省のこの廊下も

今ではすっかり静かなものです



この9月29日に連合艦隊司令部は横浜市日吉台にある慶應義塾大の建物に移るようになりました
学生さんは皆兵隊に動員されたので学校には誰もいません

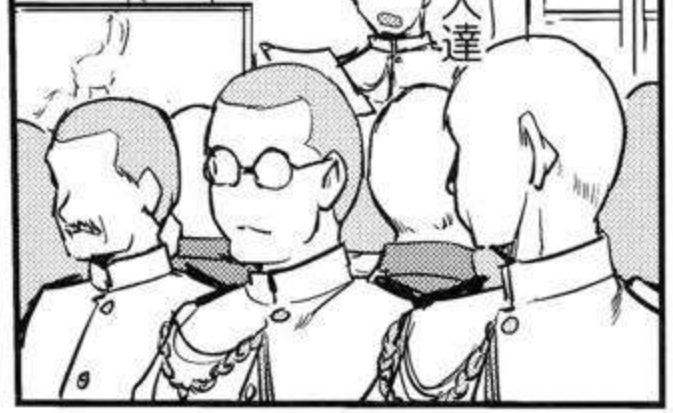
軍令部では毎日朝一番に海軍大臣や要職の人達一部の陸軍参謀なども出席して

前日の詳しい戦果報告が行われます

それが終わると参謀達は自分の課に戻りたまった書類に取り掛かったり外部との会合や報告に出かけたり

それぞれ忙しそうに役所と同じような光景です

一体いつまで静かな部屋に集まって戦略を話し合ってるんだろう...



小磯首相は驚いていた

日本はこんなにも負けていたのか...

楽天的な野心家だった小磯は

東條の権限を全て引き継げると思って喜んで大命を受けたが

大本営は『統帥権の独立』を取り戻し首相は再び作戦の外に置かれた

それならばと出席者を限った新たな最高意思決定機関を作り戦争指導を行おうとしたが

『大本営政府連絡会議』を廃止して『最高戦争指導会議』を設置する!

出席者の権限自体に変化がなかったため名前が変わっただけで終わった



比島で負けても戦争は貫徹するので天王山という表現は止めて欲しい

有力人脈を持たない小磯政権は最初から2ヶ月持たないだろうと噂された

何! これもイカンのか

明るいエピソードもあつた

43年から取り掛かった航空機の大増産は軌道に乗り

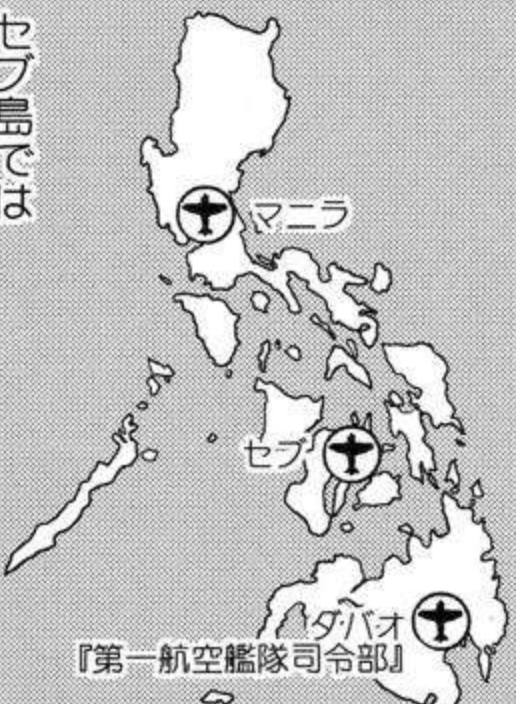
目標の5万機はともかく月産2千機を超えてピークを迎えていた大量採用したパイロットも数だけは十分にいて基礎訓練中だった

ただ数値目標を最優先して中学生を動員しての増産に加え耐久テストなどを大幅に短縮したため故障が頻発し保有機に対して実働機が半分以下という状況に前線では悲鳴が上がっていた

量をもっと減らしていいから質の低下を使用最低限に止めて欲しい!



8月12日 新司令官に寺岡中将を迎えた『第一航空艦隊』はフィリピン各地の飛行場に分散して訓練を急ぎ建て直しに取り掛かっていた



セブ島では零戦に爆弾を積んだ特別攻撃隊がタンピール海峡でやられた反跳爆撃の訓練を行っていた

日本の爆弾は鉄が柔らかくて下手すると海面で爆発する

そもそも提灯行列みたいなの対空砲の中で低空爆撃なんてできるのか?

ダメな時やそのまま突っ込みやい



8月31日 機動部隊を引き継いで5日目、ハルゼーは早くも動き出した



行くぞお前達！
俺はスプルーアンスと違つてヌルくないぞ

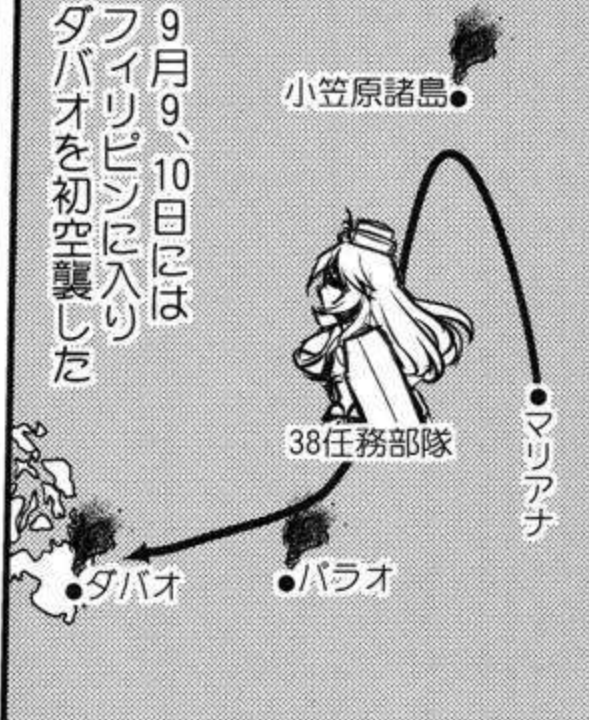
『ステイルメイト作戦』

来月のフィリピン攻略に向け足掛りとなる飛行場と泊地を確保するため



まず一帯の航空戦力を撃破する

ハルゼーは8月31日の小笠原諸島を皮切りに順に各地を空襲



9月9、10日にはフィリピンに入りタバオを初空襲した



湾口に敵上陸舟艇見ゆ！

初めての空襲を受けたタバオでは動揺した見張所の兵が沖の白波を上陸部隊と誤認した

あまりに早いフィリピン上陸の情報に陸海軍内は大混乱となった

すでに上陸を開始したとのこと

事前の艦砲もなしに上陸はありえない！

敵水陸両用車タバオ第二基地に上陸せり

豊田連合艦隊司令長官



やむをえん捷号作戦準備！

準備命令を受けて各所に分散して訓練していた『第1航空艦隊』と陸軍の『第4航空軍』はセブ島に集結した



2日後の9月12日北上してきたハルゼーは今度はそのセブ島を空襲した

対空レーダーが貧弱な日本にはちょうど集まった所へ最悪のタイミングでの奇襲となり陸海軍合わせて即戦力の145機が撃破された



フィリピンの航空戦力は一気に3分の1以下となった

日本は『あ号作戦』の戦訓から決戦までは機動部隊への航空反撃は控え戦力を温存する方針だった

角田前長官は見敵必殺にこだわり少数機で攻撃を強行し決戦前に戦力をすり潰した

再建を始めたばかりの第一航空艦隊は再び壊滅的打撃を受けてしまった



結局参謀の一人が飛行機を飛ばして確認し上陸は誤報と判明した騒ぎを起こした一航艦の寺岡中将は着任早々更迭されることとなった

タバオ誤報事件

レキシントンジャップは何も反撃してこない

レイテ島にも兵がほとんど配置されてないようね



面白い

陸軍案を選んだ
ワシントン
の連中を
もう一回悩ませてやるぞ

我々はフィリピン近海を
自由に航行している

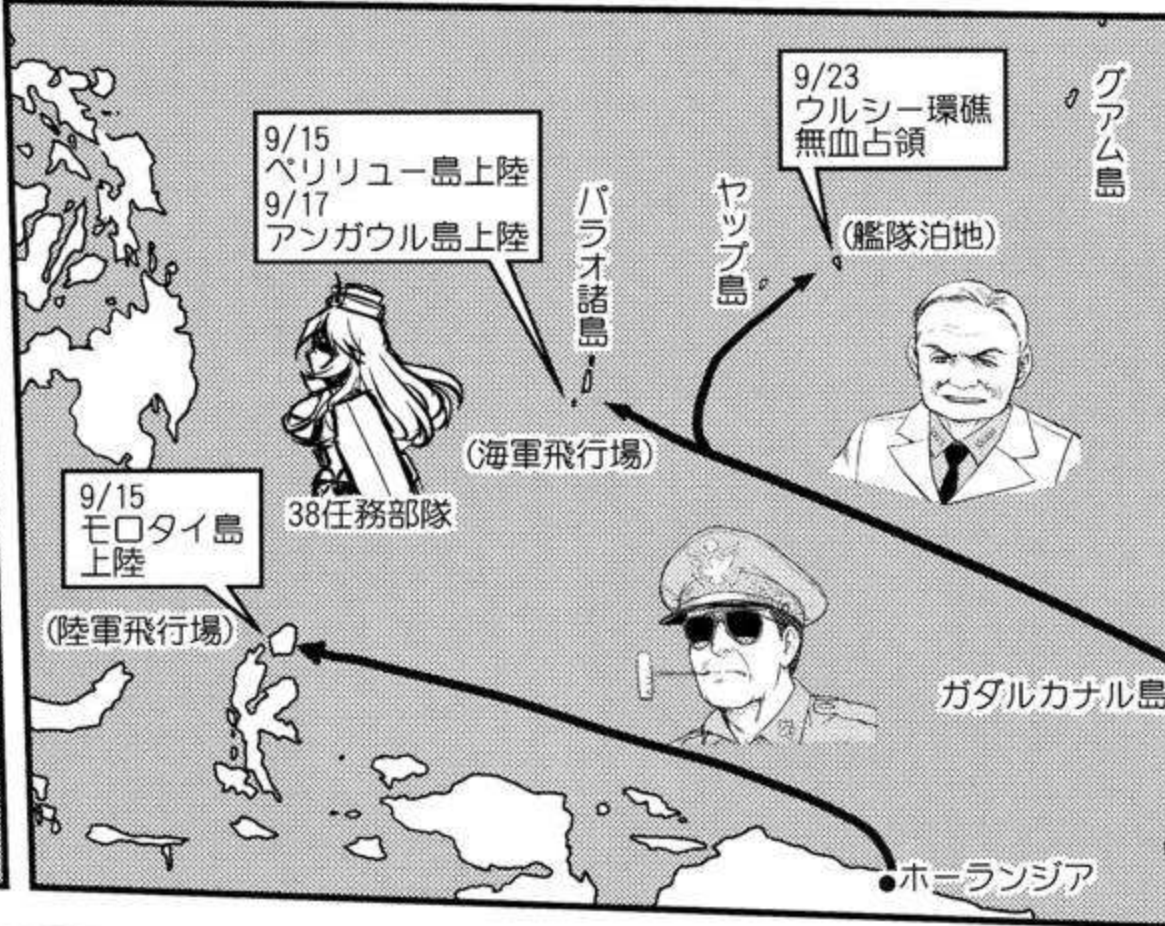
レイテ島に
日本軍はいない
なぜすぐに
攻略しないのか

ハルゼーからの報告はニミッツと
マッカーサーの同意と共にすべて
統合参謀本部へ伝えられた

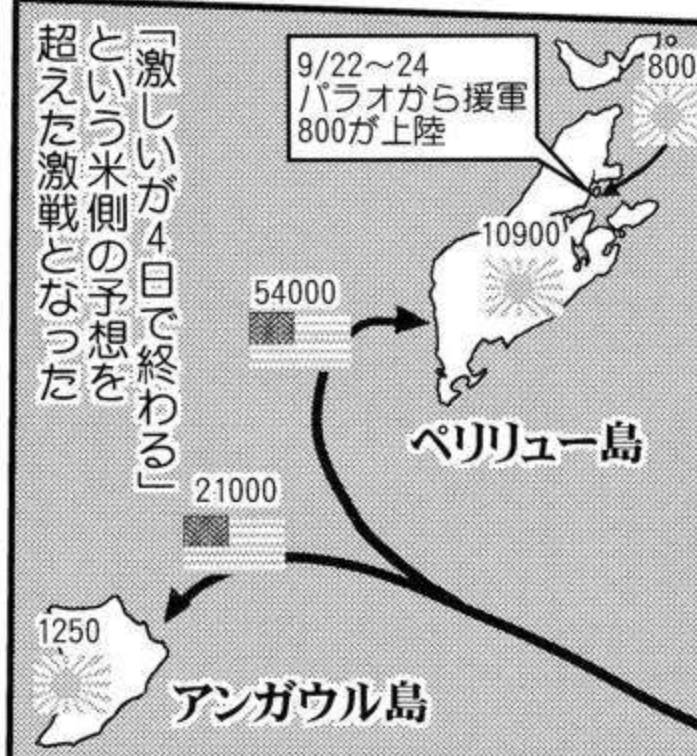
副官サザーランド

了解した
マッカーサーは今
無線封鎖中だが
必ず同意するはずだ

9月15日 制空制海権を確保した
ところで陸海軍合わせて14万の
上陸作戦が開始された



一方、『松輪送』に成功して
迎え撃つ体勢を固めていた
ペリリュー島とアンガウル島は



特にペリリュー島では中川大佐
率いる守備隊が水際で30分に渡る
かつてない猛烈な集中砲火を加え
第1海兵師団に甚大な損害を与えた



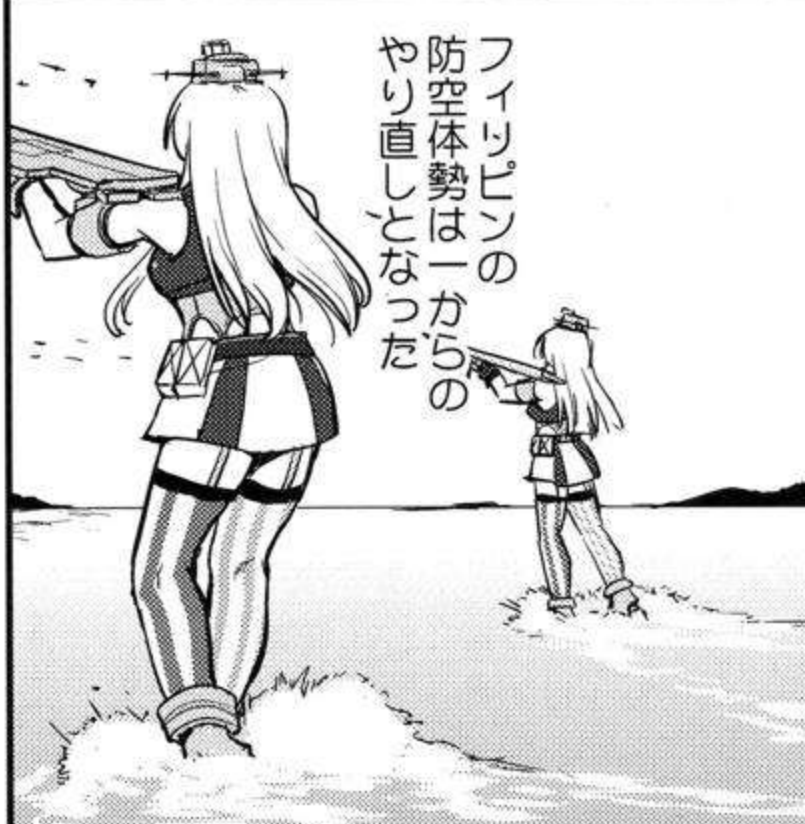
リユバータス師団長は頑なに応援を
拒否していたが大損害を出して陸軍の
投入を余儀なくされ更迭された

ニミッツの中部太平洋軍はここで初めて
侵攻スケジュールを食い止められた

9月21日 ハルゼーはさらに北上して
最後に首都マニラ一帯を空襲した

一連のフィリピン空襲で
第一航空艦隊は185機(残65機)
第4航空軍は200機全てが失われた

フィリピンの
防空体勢は一からの
やり直しとなった



結局アメリカはヤップ島、パラオ本島
フィリピン・ミンダナオ島の
上陸スケジュールを全て中止し

次の上陸目標を一気に
フィリピン中部のレイテ島
へとタイムラインを
2ヶ月繰り上げた

我々には
数ヶ月かけて決めた
計画でも24時間以内に
変更出来るスタッフが
揃っている

ルーズベルトは議会で自画自賛した



8月20日

サイパンで司令部が玉砕した『第3水雷戦隊』は解隊されて残った所属艦で初の対潜水艦専門部隊『31戦隊』が編成された

旗艦は五十鈴よ!

ぴよん

海上護衛総隊は航路での活躍に期待したが結局連合艦隊の随伴護衛として使われた

9月22日 瀬戸内海 呉



改装お疲れ様です 扶桑さん山城さん

リング泊地までの護衛は 17駆逐隊が担当します

ありがとう 電探はまだ慣れないけど

名うての幸運艦に 護衛してもらえるなんて 心強いわ

まかせて下さい

もしかして あえて幸運艦を 名乗ってるのか?

まあ

そういえば 雪風は多くの艦娘に 『イイコト』して 運をおすそ分けしてるらしいわね

それって 不幸姉妹なんて言われてる 私達も頼んでいいのかしら?

これ途中が『魔のバシー海峡』 って言われてるんでしょ 怖いわね

大丈夫ですよ 30ノットで之字運動やれば 魚雷なんてそうそう 当たりません

30ノット 出ない 25ノット 出ない

10月4日 扶桑一行は 無事リング泊地へ到着した

あ 助平艦が来たぞ

ご予約 承りました!

それでは鳥海 説明たのむ

歴戦の皆さんに 今さら言うことは あまりありませんが

第一次ソロモン海戦で 行った上陸直後への 殴り込みについて所感を 述べたいと思います

次の作戦は
敵地突入なんだ…



南国の星空は
いつ見ても
キレイだねー



雪風入ります

あら
時間に正確ね
いらっしやい

扶桑さん
さっきの話聞きました？
決戦だと言って
ましたけど

前も決戦だったのに
おかしくないですか？



おかしいかも知れないけど
まだ何も働けてない
私達にとっては



まだ決戦が
残ってることが
ありがたいわ

さて
えーっと雪風
まずどうするん
だっけ



まずは着てる物を
脱がなきゃダメでしょ
山城

あ
そうか

フフ…

いえ脱ぐのはし
てからでも



しゅる



あれ
山城さんも扶桑さんも
下はふんどしなんですわね

ウチはみんな
こっちだったから

あんまり見ないで
金剛さんみたい
スタイル良くないから
恥ずかしい

いえいえ
あのうちよつと
おかしいですから

お前はハリウッドの
映画スターかと



はっ

軍に志願する
ような艦娘は
明るくて好奇心
旺盛だから

何かと
経験済みの
娘も多いけど

この二人は
間違いなく
おほこ
未通女



では
扶桑さんから
お布団へ

はい

おそろく

私たち姉妹は
次の決戦を生き延びる
のは難しいだろう

姉さんと二人
周りに勧められるままに
艦娘に志願したけど

ここまで
ムダ飯食べて
来ただけ



この期に及んで
戦艦ハ艦娘ノ模範タレとか
体裁ばかり気にするのは
やめだ



死ぬ前くらい
思い切り自分を
さらけ出してやるわ

さあ
何でも言っておくれ

みつともない
ことだろうと
欲望に遠慮なく
さらけ出して下さい

あ
同じこと
言ってる...



なるほど

雪風の
夜這いが
ウケてるわけだ
……



この
役立たずの

ブタ

姉妹



姉さんは...



何を
頼むのだらう



戦争始まって何年だ！
一度も戦ってないのは
お前らしくないだ！
恥ずかしくないのか！

お前が時代遅れの
ボロ船つてのは皆知つてんだ！
貴重な燃料だけ食いやがつて
艦娘なんて今すぐ辞めちまえ！

疲れていたの

図体だけでかくて遅くて
海防艦より役に立たない！
内地で学生の訓練して何かしてる
つもりなら勘違いも甚だしい

命張つてる空母や水雷戦隊の
便所掃除か陸戦隊の慰安婦でも
やったらどうだ！

最後は私達が勝敗を決める
というフリをするのに…
国中の期待を一身に背負ってる
という芝居を続けるのに…

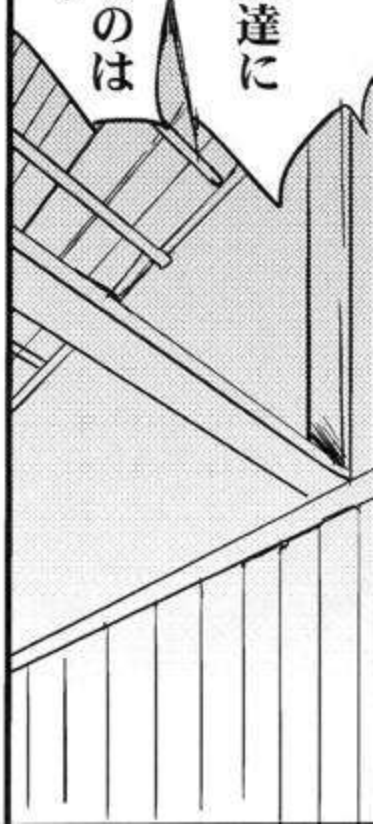
艦隊決戦なんて
絶対起きないし
お前らはもう
用済みの鉄屑なんだよ



泣け！
泣いて沈んだ艦娘達に
詫びるんだ！
虚勢で塗り固めるのは
もうたくさんだ！

その上で
言うんだ

『情ないです』
『悔しいです』
と！



な…
情ないです…

くやしいです
……



よおし
いいだろう
お前が無為な日々を
良しとせず

悔しがって
おいてやる
私が覚えて

今日はムダ飯食ってきた
お前をメチャクチャに
してやるからな

覚悟しろ

ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ



役立たずの白姉妹は
どうせ揃って未通女だろ！
みつともないつたら
ありやしねえ！

ソツツ
フツツ
トタツチ...



クモの巣張ってる
処女膜は今ここで
ぶち抜いて女に
してやるからな！

よし！
濡れてきた

ちゅちゅ
ちゅちゅ
ちゅちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

あ



ふふふ

もまも

ほい



扶桑さんの
初めてが

気持ちいい
想い出に
なりますように

フツ

フツ



こんなとこだけ
一人前か!

ヘッ
生意気にしつかり
啜え込んでやがる

お

お



初めてだからって
遠慮はしねえ

一番ぶつといのを
容赦なく
ぶち込んでやる

お



あ



あ

お

お

お

お

お



お手柔らかに
.....

フフ

山城さんも
同じでいいんですね

ふーっ



ん

あ



は...
入ってくる
私の中に...

これじゃ準備なんて
要らないな

大人しい顔して
しつかり反応してる
とんだドスケベ女だ！

姉ちゃんが
ヤられるの見て
感じちゃったのか

オイオイ
何だコシ

あはは

あはは

あ

オラッ
イケッ！
イケッ！

イクときは
ちゃんと
山城イキますって
言うんだぞ！



い…
イキまふ

山ヒロ
イかせて
いただきまふ！



次こそは
きつと後悔のない戦いを...

い...
いいのよ雪風
気にしなくて!

私たちの方から
頼んだことなんだから

失礼しました
おやすみなさい

あれ?
張り形にヒビが
入ってる...

割れ
ちやった...

だいぶん
使い込んだから
なあ

へーイ雪風
こんな遅くに
厠デスカー

大じゃなけりや
ご一緒するネー

ああ
おかしい人だ

陸軍大本営はフィリピンでの決戦地を
最大の面積を持ち首都マニラの
ルソン島と決めていた



決戦に備えフィリピンを攻略した
14軍は方面軍に格上げされた

ところが数年の間、南方軍司令部で閑職
だった第14方面軍の黒田中将は

何が決戦だ、飛行機も
ない資材もないで
勝ち目なんかあるか

今さら中央の
決戦準備命令には従わず
マニラの歓楽街に通い続けたため
ハルゼーの空襲を機に更迭された

10月6日
後任に選ばれた陸軍の切り札
『マレーの虎』山下奉文^{ともゆき}大將
はフィリピンに着任した

緒戦で国民的英雄となった山下は
東條に嫌われ満州に飛ばされていた

同じ10月6日

フィリピン空襲
から戻り
早速ウルシーで
補給を受けた
ハルゼーは

わざわざ7日
再び出撃した



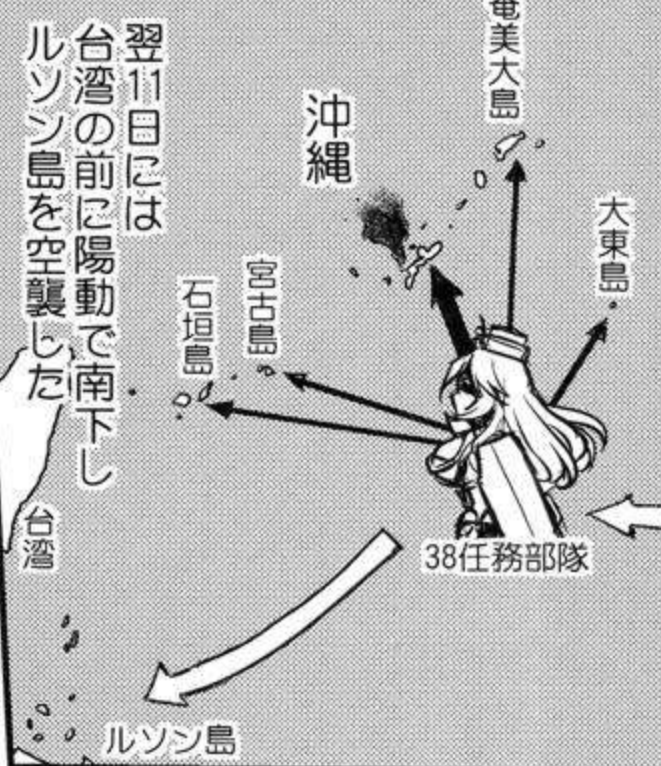
ジャップに
時間を与えるな!
後方の沖縄と台湾を
叩いたのち

マッカーサーの
上陸を支援する!

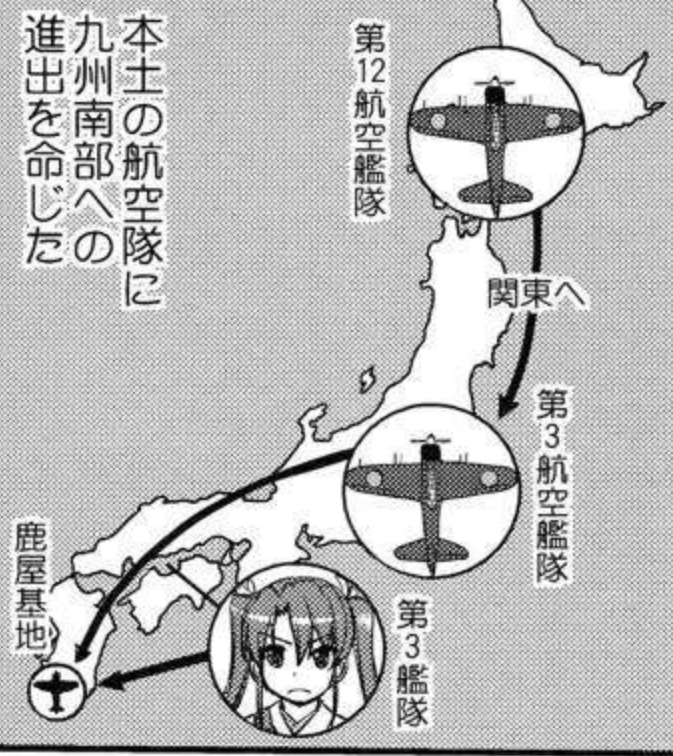
レイテ島攻略
『マスケーティア作戦』

米軍は早くも
フィリピン上陸へ
動き出した

10月10日 ハルゼーは400機で
沖縄諸島を初空襲した
那覇市は焼失し県民に衝撃を与えた
日本は30機と小型船25隻を失い
米軍の損害は21機だった



翌11日には
台湾の前に陽動で南下し
ルソン島を空襲した



本土の航空隊に
九州南部への
進出を命じた

また
航空隊の
引き抜き!?

三航戦と四航戦は
作戦可能な全兵力を
基地航空隊へと進出させる
準備をせよ!

全兵力って…

ようやく
生き残りを
かき集めて
再編始めた
ところなのに

ぶははははは
ダメだこりゃ

何ヶ月もかかる
空母部隊の再建なんて
出来っこない

瑞鶴さん…

10月12日 ハルゼーは延べ1378機で
台湾を攻撃した

だが台湾では
日本の主力「第2航空艦隊」が
すでに上空で待ち構えていた

今度は奇襲にならず
新型戦闘機「紫電」の迎撃や対空砲で
米軍機も48機が撃墜された

豊田長官は台湾またはフィリピンへの
米軍の上陸作戦が始まったと
判断した

捷一号、捷二号
作戦発動!

日が暮れると19時頃から
源田実の精鋭「丁攻撃部隊」の
夜間攻撃が始まった



報告戦果
空母2撃沈
1炎上

今度は
空母『フランクリン』
重巡『キャンベラ』に
命中弾を与えたが43機を失った

夕方になると
T攻撃部隊は73機で
二度目の薄暮攻撃を加えた

28機
45機(陸軍合同)

38任務部隊

アドミラル・ハルゼー
台湾は飛行場が多く
全て破壊するのは
不可能かと思えます

翌10月13日 米軍は延べ974機で
再び台湾を空襲した

報告戦果
空母4撃沈

源田の狙い通り
夜間迎撃機はわずかで
真つ暗な中での
対空兵器との戦いとなった

56機(攻撃後台湾へ)
小禄
50機(陸軍合同)

しかし実際の
戦果は
54機を失った

38任務部隊

報告戦果
空母2撃沈
2炎上

軽巡『ヒューストン』を
大破させたが244機
を失うというマリアナ沖
海戦並の大損害を出した

攻撃隊は雷撃で
大群が迎え撃った

しかし
今度は昼だったので
ヘルキャットの
襲いかかった

第2航空艦隊、第3航空艦隊、
三航戦、四航戦、T攻撃部隊の
380機が次々に米機動部隊に
襲いかかった

2航艦の福留繁長官はこれを
米艦隊の退却とその援護だと判断し
配下の450機に航空総攻撃を命じた

昨日までの攻撃で
米機動部隊は潰走中だ
全力でとどめを刺す!

翌10月14日 ハルゼーは朝方の
146機で台湾攻撃を切り上げると
レイテへと反転した

さらに午後になると中国の成都から
B29百機が来て台湾爆撃を行った

捷号作戦で瀬戸内海に移動した
『第5艦隊』には海域の救助と
米艦隊の残敵掃討
命令が出された

沈みかけの艦に
止めを刺して回れ
という命令だけど

オイ
ホントに空母は
壊滅してるんだろうな

シット!
ジャップのホラを
真に受けるとは

大本営が連日発表する大戦果を傍受し
心配したニミッツは
ハルゼーに報告を
求めた

こうなつては奴らが喜ぶ
証拠を残すのも癪だな

報告戦果
空母1撃沈
2炎上

130機

38任務部隊

第5艦隊

翌15日も福留大將は残る航空兵力を
投入し続け追撃を行った

ハルゼーは大破で処分予定だった
『キャンベラ』と『ヒューストン』を
曳航することに變更し
ニミッツに打電した

日本が撃沈した艦は
全て海底から
引き上げたので
一隻も失わず帰還中

日本軍は
プライドが傷つき
大勝利に飢えていた

火柱を見た!

これだけの損害が
出たからには
敵もやられてるはずだ

一方、日本の戦果報告の場では、
一種の躁状態が支配し戦果が
次々と積み上げられていった

海上護衛総隊の哨戒航空隊も
上陸部隊攻撃のための陸軍雷撃隊も
福留は全て空母の攻撃につき込み
計312機が未帰還となった

さらに300機が損傷やトラブルで
失われ捷号作戦の主な航空兵力を
使い果たしてしまった

台湾沖航空戦

本当に沈む所を
確認したのか？
なぜ空母だと
言い切れる！

それは…

貴様ア

俺の部下達が命と
引き換えにした戦果に
見てもいいかい
お前が何を言うか！

いいだろう！
戦果が間違っていたら
俺は腹を切る！
間違ってたかったら
お前が腹を切れ！

い…いや
疑ってる訳では

連合艦隊航空参謀で真珠湾の英雄
淵田美津雄中佐もあえて
戦果報告に異を唱えなかった

もつと慎重に
検討しないとイカン
じゃないですか

そんな
下から報告して
くるものを
上で値切れるか

だが戦果の幻が消えるのに
24時間も掛からなかった

16日以降 偵察機が米機動部隊を
次々に発見した

『東方海上を後退中の
空母13隻を発見』(16日)

『台湾、比島東方海上に
4群の機動部隊を発見』(17日)

第5艦隊は直ちに反転し
沖繩列島の西側に回り
北進せよ！

やっぱり
敵は残って
たのか

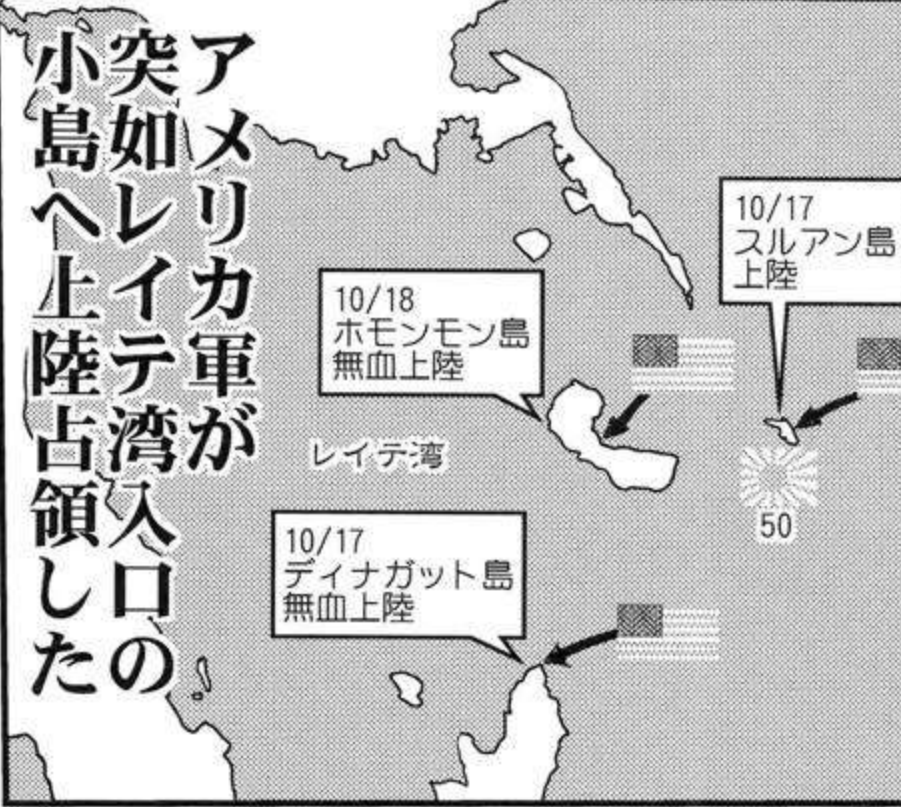
母艦機が
飛んでるし

同17日 連合艦隊司令部では
密かに戦果の再検討が行われた

どう見積もっても
空母4隻損傷程度で
撃沈はまず
あるまい

しかしもはや撤回はできず
この事は終戦まで政府、天皇はあるか
陸軍参謀本部にさえ伝えられなかった

10月17日 日本大勝利の情報
が広まり14方面軍兵士も酒宴を
行っている中



アメリカ軍が
突如レイテ湾入口の
小島へ上陸占領した

翌18日 まだ戦果が幻と
知らなかった及川軍令部長は
上陸部隊撃滅のため『捷一号作戦』の
正式な発令を天皇に上奏した
(航空反撃は現場の臨時発令だった)

敵機動部隊は
台湾沖で大損害を出し
フィリピン上陸は遅延
するとみられますが

11月の大統領選の政略で
形ばかりの上陸をしてくる
ものと思われま

だが米機動部隊の健在を
知っていた連合艦隊は

上陸はアメリカ力の
本格的侵攻で
遂に最終決戦の時が
来たと分かっていた

全艦隊
捷一号作戦
配置につけ!!



第3艦隊旗艦
三航戦・瑞鶴

準備はたった一週間前に作戦可能な全戦力持っていていかれて

もう航空隊
なんかないし

でも
何とかしなきゃ

私一航戦から
601航空隊
あるだけ
借りてきます



601なんて
マリアナで
壊滅したまま

まだ人数集めの
段階でしょ



悔しいなあ
瑞鶴

俺も悔しいぞ

はあ？



お
小沢長官ツッ！
失礼しました！



どうだ

やられっ放しもつまらん
アメリカの機動部隊に
一泡吹かせてやらんか



ま……

まだ
何か方法が
あるんですか!?

ヤッ

おう……



海軍軍令部

3階 軍令部
2階 海軍省



更迭された1航艦寺西長官の後任
大西瀧治郎中将は

フィリピン出発前に海軍の
大臣と総長を訪ねていた

体当たりの
特別攻撃しか
ないと考えます

軍の命令は
陛下の命令です
くれぐれも強制は
しないように

及川総長

そういう空気に
持つていくので
中央からは何も指示を
出さないで下さい

大西は海軍航空に
初期の頃から関わってきた
航空畑の第一人者であり

護衛機に守られ
敵に真っ直ぐ飛ぶ
くらいなら出来る

未熟な搭乗員に戦場で何が
期待出来るかも知っていた



大西は飛行機乗りが多い
男気があり親分肌の言動で
部下に慕われるタイプだった



反面、料亭で暴力事件を起し海軍大学の
入学資格を失うなど、傲慢、頑固で
ハデな振舞いが目立ち上官には疎まれた

10月19日(米軍上陸前日)

マニラに到着した大西は1航艦が零戦
30機しかない現状を知り、愕然として
すぐに現地の指揮官達と話し合った

連合艦隊がレイテ湾に
突入する間上空を
守らなきゃイカン
空母への体当り攻撃
しかないと思うが
諸君の考えはどうか

250キロの爆装ゼロ戦で
体当りした場合、数日は
甲板が使えなくなる

山本司令が
不在なので
決められません

山本司令の同意は
とっている(嘘)



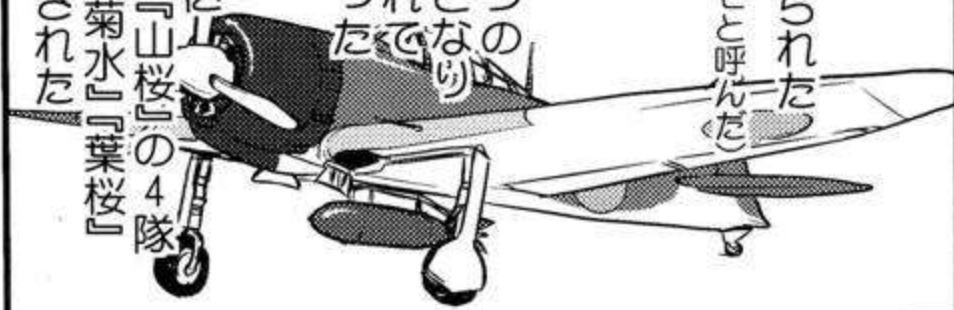
飛行隊長達に
聞いてみます

玉井航空隊副長はセブ島で反跳爆撃
の訓練を行っていた201空
特別攻撃隊の飛行隊長達に尋ねた
志願者が
不足することは
なさそうだ
その場に高揚感が広がった
若い隊長達は全員同意した



この特別攻撃隊は
『神風』と名付けられた
(しかし敵も味方もカミカゼと呼んだ)

『神風特別攻撃隊』は
護衛機と特攻機
それぞれ2〜3機つづの
4〜6機で一つの隊となり
味方の通常攻撃に紛れて
突入する奇襲部隊だった
1航艦の30機で20日に
『敷島』『大和』『朝日』『山桜』の4隊
22日に別の飛行場で『菊水』『葉桜』
『若桜』の3隊が編成された



隊長に選ばれた関大佐はしかし
納得していた訳ではなかった

オイ
日本は負けるぞ

はッ?

俺は5号(500キロ爆弾)を
何度でも命中させる自信がある
それを一回で殺すんだからな



一方、この日は
台湾沖航空戦の大戦果が
まとめて発表され
国内を沸き上がらせた

轟撃沈	空母11	戦艦2	巡洋艦3
撃破	空母8	戦艦2	巡洋艦4
撃墜	駆逐艦1	艦種不詳13	
損害	312機		

憎きアメリカ機動部隊は
遂に完膚なきまでに
撃破され壊滅したのだった

全国各地で祝勝会が行われ
翌20日の国民大会では
小機首相が演説した

かくして一つの
大機動部隊は殲滅せられ
たのであります

実に古来戦史に
その類例を見ざる
真に限りなき
輝かしさであると
言わねばなりません

勝利は今や
我が頭上にあり



だが同じ日
3km離れたレイテ湾では
マツカ―率いる
7.34隻、20万人の
米軍が押し寄せ



第7艦隊が
上陸前の艦砲射撃を
始めていた

守備隊の16師団参謀達は戦法を
変えろという大本営の命令に反発し
海岸の守備隊を退避させなかつた

噂に聞く
米軍の艦砲も
それ程じゃない

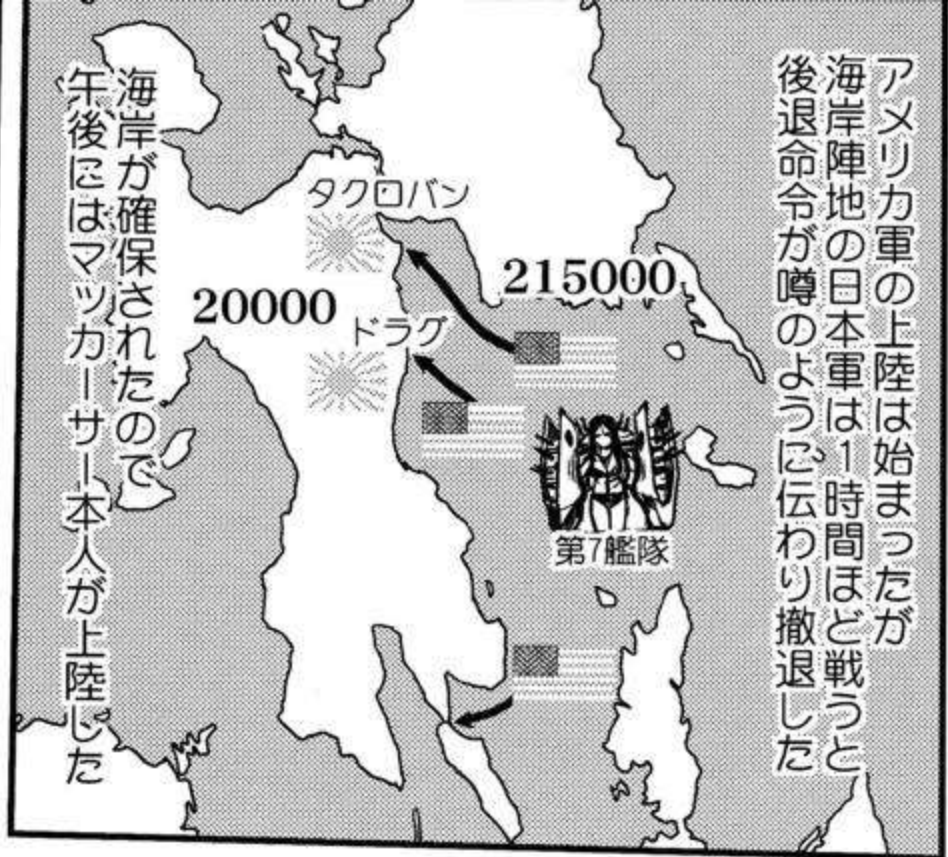
見ろ!
半分も生き残ったぞ
サイパンは陣地が
弱かったのだ!

しかし部隊の半数が
肉片と化した海岸陣地では
士気が著しく低下していた



10月20日(上陸開始)

アメリカ軍の上陸は始まったが
海岸陣地の日本軍は1時間ほど戦うと
後退命令が噂のように伝わり撤退した



海岸が確保されたので
午後にはマツカーサー本人が上陸した

マツカーサーは報道陣の中を膝まで
水に浸かって上陸すると演説を行った

もつと下から
見上げるように
撮れ

サンングラスを忘れた
撮り直した

ついでに水の中じゃなく
水の上でも歩いた方が
絵になるんじゃないか

直前に潜水艦で武器の他
「ファイシャルリターン」と印刷した
タバコやチョコレットをゲリラに
配るなど上陸を劇的に演出した



リンガ泊地の第2艦隊は
この日までにブルネイに
進出し終えて燃料
補給を行っていた

上陸2日以内の
突入計画だったが
給油などでブルブル遅れ
25日未明が突入日(Xデー)
として全軍に通知された

第2艦隊
ブルネイ
リンガ泊地

愛宕
旗艦は大和か武蔵に
譲ったらどうだ



長門さん
第2艦隊はあくまで
私達重巡の艦隊です

ここは
譲るわけには
いきません



遅い艦は
分けるべきじゃ
ないか?



それじゃ
同時に突入
できないデス

確かに艦隊は
速い方がいいが
護衛機も分け
なきゃイカン

あの…皆さん
お氣遣いなく



私と山城は
別に近道で
向かいます



扶桑
上空の護衛が
期待できるのは
このルート
だけだ

いいんです



ふむ
突入は二方向からの
方が効果的だろうな

よし
単艦の『最上』『時雨』と『第4
駆逐隊』は扶桑と山城に付け



扶桑、山城
一緒だつてさ

幸運艦『佐世保の時雨』が
一緒なんて縁起がいいわ



小沢長官の進言で第2艦隊は
第1機動艦隊から外され
連合艦隊直属とされた

1500kmも離れた艦隊を
同時に指揮など出来ない



レイテ湾に殴り込む
第2艦隊の海路を
空けるために

アメリカの機動部隊を
北へおびき出し私達を
全力で攻撃させる

見つかるのは
早すぎても遅すぎてもダメ
なるだけレイテから引き離すため
近すぎてもダメだ
アメリカの索敵範囲のギリギリ
300海里程度で見つかる
ように行動する

全力で攻撃させるために
航空機がなくなっても
堂々と航行する

ハイ!
大艦隊のフリを
するんですね
正規空母に見えるよう
ふんぞり返って
進みますよ

よし

第3艦隊は
各所から
かき集めた
練度不足の116機を
三航戦の4空母に搭載した
四航戦に
至っては航空機ゼロなので
航空戦艦の『伊勢』『日向』のみ出撃した

第1機動艦隊(第3艦隊)は
豊後水道を超えると偵察機を
飛ばしつつ突入のXデーに向けて
慎重に南下を始めた

東京では陸海軍合同会議で
全艦隊の突入を打ち明けられた
陸軍が衝撃を受けていた
海軍のみなさん
どうぞ慎重に
なつてください
急いで自滅してしまつたら
日本は無防備になります
佐藤賢了
軍務局長

連合艦隊が陸軍から
そのように高く評価
されていることは
感謝にたえません
中沢佑
作戦部長

我々は死に場所が
欲しいのです:
どうか連合艦隊に死に花を
咲かせる機会を下さい

男涙を流す中沢作戦部長に
陸軍も何も言えなくなった
……
それでも中沢は台湾の大戦果が
誤報だとは陸軍に伝えなかつた

フィリピンでは神風特別攻撃隊が
『Xデー』に向け米空母の甲板に
穴を開けようと出撃を始めた
結成からわずか1日
明日死ねと言われた特攻隊は
連日飛び立ったが空母を発見できず
帰還する日が続いた

今や国を救えるのは
大臣でも大将でも総長でもない
諸子の如き青年達である
諸子はすでに神であるから
欲望はなくても体当たりが無駄に
ならなかつたかは気になるだろう
そこは自分が全てを見届けて
必ず上間に達するように
するから安心していつてくれ

この日、追撃をやめて奄美大島にいた
『第5艦隊』にもXデー突入命令が下つた
そして増援のため『16戦隊』が第2艦隊
から抜けて合流点マニラへ向かつた
奄美大島
第5艦隊
マニラ
16戦隊
ブルネイ
しかし青葉は
マニラ西方で
米潜水艦『ブルーム』の
雷撃を受け大破し合流は失敗する

奇跡というものがある事を、
思い出して欲しい！
この決戦で戦勢を挽回できないと
誰が断言できようか！

皇国の興廃
この一戦にあり
各員奮励努力せよ

乾杯！

オーただの
水デース

第一部隊(金剛中心)

第一部隊(大和中心)

そりやあ
まあ

鳥海
今度は負けねえぞ

空母達が敵わなかった
アメ公をこの摩耶様が
纏めてぶっ殺してやる

遠慮はいらないわ
思い切り暴れなさいよ
摩耶

私達みんな
死ぬのかな

イヤイヤ！
敵を殺しに
行くんでしょ

『呉の雪風』
そっちの
運は任せた！

第三部隊は
『佐世保の時雨』さん
がいるなら
大丈夫ですね

8時、第一第二部隊(栗田艦隊)は
ブルネイから出撃した

第2艦隊
(栗田艦隊)

ブルネイ

扶桑ッ
山城！

頑張れよ

レイテ湾で
会おう

はい

長門さん達も
ご武運を

第三部隊(山城中心)

7時間後の15時30分
第三部隊(西村艦隊)も
護衛機の全く無いコースへと
出撃した

第2艦隊
(西村艦隊)

ブルネイ

ハルゼーは20日にニミッツから日本空母の出撃報告を受けていた

そして西から近づいている艦隊は第二次ソロモン海戦の再現を狙っていると判断して4群の空母を配置した



キーンベラとヒューストンを曳航して補給にウルシーへ後退中

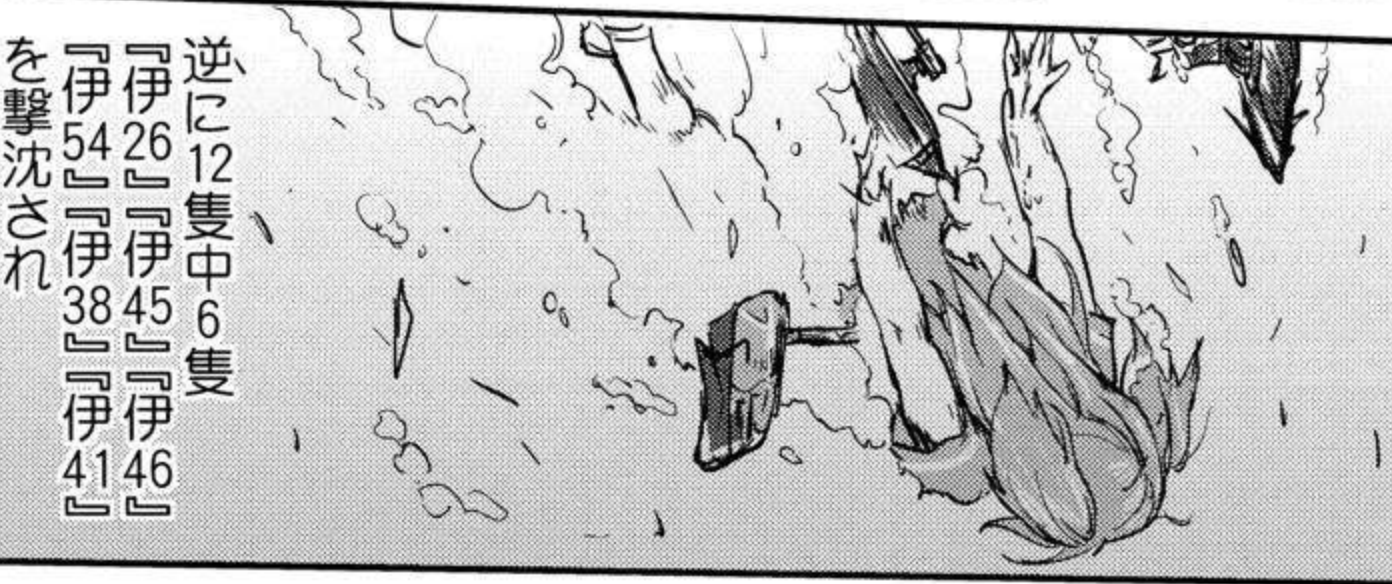
日本の『第6艦隊』潜水艦部隊も『捷号作戦』と共に投入可能な戦力12隻全てをレイテ沖の敵艦隊へ向かわせていた



マリアナまでの戦訓から今度は散開線の点配置をやめ自由に動ける範囲を設定した

しかしダメ!

10月20日の作戦開始から11月中旬の帰還までの戦果駆逐艦『エヴァソール』撃沈(28日)他に撃破3隻のみで



逆に12隻中6隻『伊26』『伊45』『伊46』『伊54』『伊38』『伊41』を撃沈され

日本の潜水艦はまだ封じ込まれた

最前線へ潜水艦を送り続ける日本に対し後方に送り込まれた米潜水艦は この日も獲物を見つけた海路で商船を探していた『ターター』と『デイス』は出撃した栗田艦隊を偶然レーダーで発見すると全速で先回りし狭い水道で待ち伏せた



23日 6時33分 先頭の『愛宕』は全く気づかないままターターが放った魚雷4本を被雷

2分後の6時35分『高雄』もターター二射目の4本中2本を被雷

誰か将旗を... 大和さんに



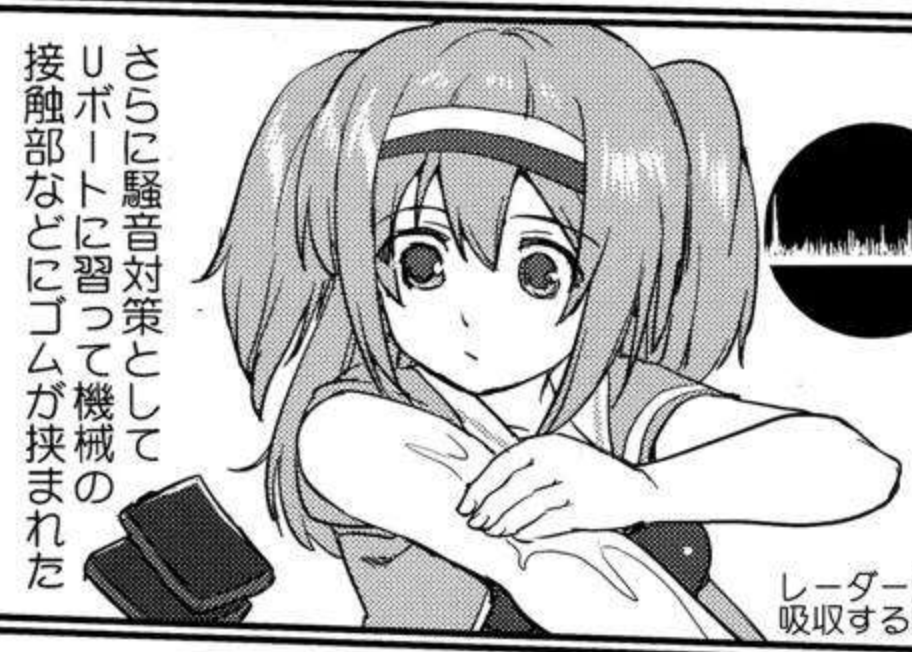
6時53分に愛宕は沈没し旗艦は『大和』に変更された

6時57分 今度は『摩耶』にデイスの放った4本が命中 摩耶は一言も発することなく8分で轟沈した



レーダー波を吸収する防探塗料

一度全て内地へ呼び戻されていた潜水艦群は哨戒機対策にレーダーを装備され



さらに騒音対策としてUボートに習って機械の接触部などにゴムが挟まれた

損傷した高雄は『朝霜』『長波』の護衛を受けブルネイへと引き返した



出発したばかりでなんて事だ…



これでレイテ湾まで辿り着けるのか…

敵は潜水艦多数を結集す
明朝以降、大型機ないし機動部隊を持って我が水上部隊の攻撃を図る
我が作戦については従来の計画を実行すべし



司令部からは作戦に変更無しです
レイテへ向かいます

一方、陸軍は台湾沖航空戦の大戦果を信じたまま上陸軍を残敵と判断し

ルソン島決戦の方針をレイテ島へ大転換した
陸軍もまた勝利に飢えていた



しかし14方面軍司令官山下は海軍の大戦果を疑い
ルソン島兵力の移動に反対した
現に米軍機の空襲が続いてるじゃないか



南方軍の寺内元帥は前任者に続いて反抗する山下を呼び出し叱りつけた

元帥は命令する

驕敵撃滅の神機到来である！

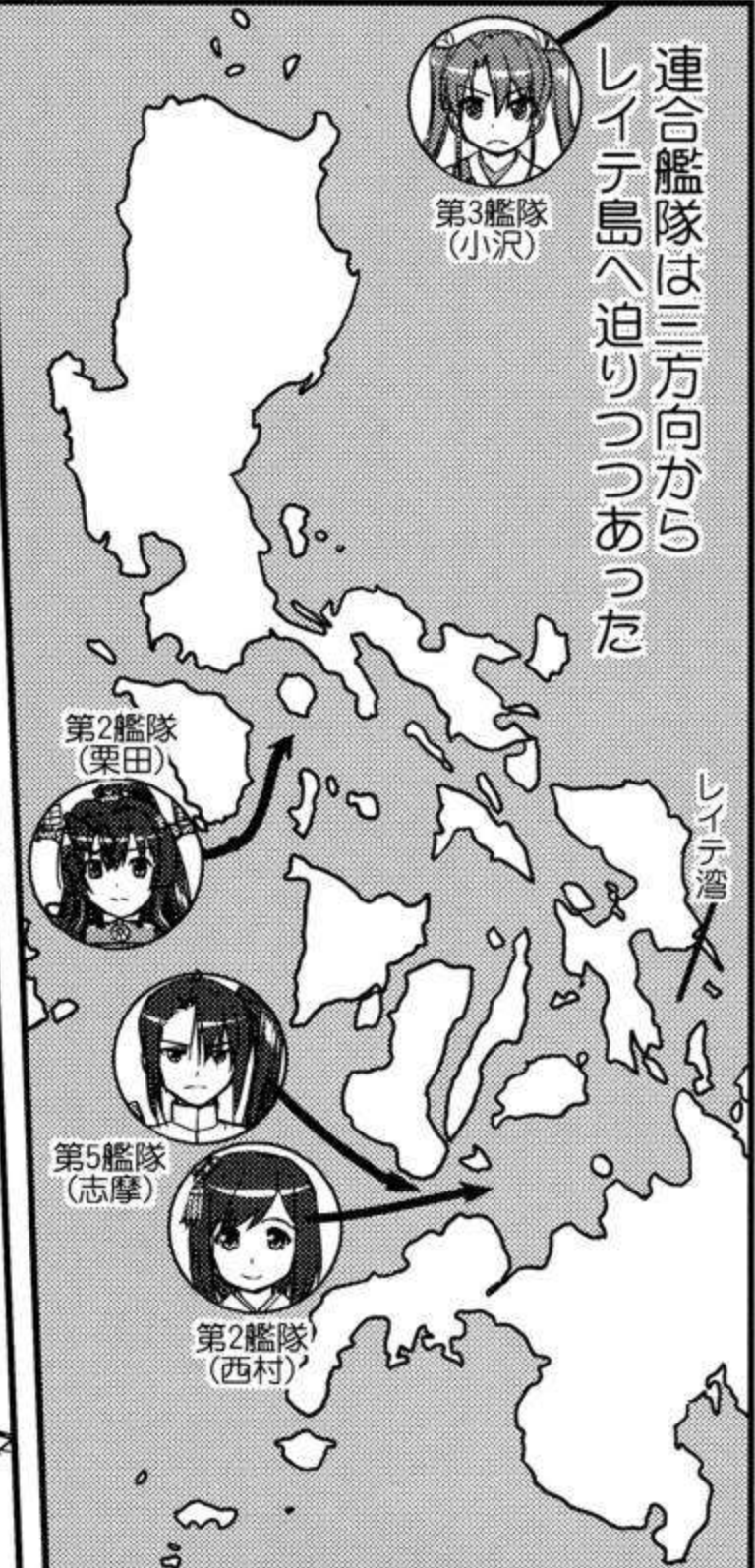
海空軍と協力し多くの兵力を持ってレイテ島の敵を撃滅せよ

フィリピンの戦力の多くをレイテ島へ輸送する『多号作戦』が始められた



10月24日(Xデー前日)

連合艦隊は三方向からレイテ島へ迫りつつあった



6時30分 台湾からマニラに進出した『第2航空艦隊』は残り少ない全力の182機を出撃させた



例によって大量のF6Fの迎撃で67機を撃墜されるなか



四航戦から引き抜かれた1機の彗星が雲に紛れて攻撃の機会を伺っていた

米機の着艦が始まり対空砲が撃てなくなるのを見図らい、彗星は見事な急降下爆撃を行い250kg爆弾を空母に命中させた



インディペンデンス級軽空母『プリンストン』撃沈
主戦力の米空母撃沈はこれが最後となった

『第5艦隊』は「ロン」湾で23日18時から6時間待機していたが合流予定部隊はどちらにも損傷したため合流は実現しなかった

21駆逐隊空襲で『若葉』沈没傷『初霜』損傷



第二部隊(西村艦隊)

9時40分
米第4群の20機から5分程度の空襲を受ける



みんな大丈夫?

大丈夫だけど見つかったらあな

向こうは戦艦4隻と湾内には80隻もいたしここから先が思いやられる



いいじゃありませんか

こっちにたくさん来るってことは

その分長門さん達が突入しやすいからってことだから

みんな元気出さない! 最初に死ぬのは先頭の私だから!

第4駆逐隊『満潮』



同じ頃10時26分敵の索敵範囲に入った栗田艦隊も45機の初空襲を受けていた



被弾は『武蔵』魚雷1 『妙高』魚雷1 至近弾2

武蔵異常は?

何ともない

妙高はここで撤退した



第3艦隊(小沢艦隊)

11時15分『瑞鳳』の偵察機が米第3群を発見した

さて予定地点に無事着いたし偵察も先手取れたわね

朝に2航艦が教えてくれた敵の位置と違いますねどっちを攻撃しますか?

そうだな頑張ってくれたんだし瑞鳳隊が見つけた方を攻撃しよう

11時45分 三航戦はなけなしの57機を出撃させた

攻撃隊は戦果なく17機を撃墜されたが『空母2撃沈』を報告して近くの飛行場へ帰投した空母へ戻ったのは3機のみだった



13時19分
今度は米第3群から
83機が来襲

『矢矧』 至近弾1
『大和』 爆弾1 至近弾1
『武蔵』 爆弾6 至近弾3 魚雷5

第3群 (シヤーマン)

第2艦隊 (栗田)

こちらは雷爆撃の
反復攻撃を受けています

基地航空隊と機動部隊の
援護と攻撃情報を求む!

11時56分
ハルゼーは全力で
栗田艦隊攻撃を開始し
再び33機が来襲

『大和』 至近弾2
『武蔵』 爆弾2 至近弾5 魚雷3

攻撃は大型艦
特に武蔵に集中した

武蔵は速度が低下し
遅れ始めた

第2群 (ポーガン)

第2艦隊 (栗田)

誰か... 後退
なんかするか...

武蔵!
あなたは後退しなさい
『利根』『清霜』護衛について

14時15分、ハルゼーの攻撃は続き
次は第4群から65機が来襲

『長門』 至近弾3
『大和』 爆弾1

雑魚どもが
この最強の武蔵を
沈めてみる!

来いやあー

てめえら
どこ攻撃してやがる

そんな小せえ奴らを
倒してもつまらんだろ

攻撃は
動けない上沈まな
武蔵に集中し
なぶり殺し状態と
なつた

14時59分 再び米第4群
より75機以上が来襲

『武蔵』 爆弾10 至近弾6 魚雷11
(多すぎて詳細不明)

『長門』 爆弾2 至近弾3
『藤波』 爆弾1
『浜風』 至近弾1
『利根』 爆弾2 至近弾2
『清霜』 爆弾1 至近弾5



これは…

犬死に
だったのか…?

大和…

ハルゼーの猛攻を一身に受けた
武蔵は遂に力尽きた

遂に不徳のため海軍は元より
全国民に絶大の期待をかけられたる
本艦を失うこと誠に申し訳なし

ただ本海戦において他の諸艦に
被害殆ど無かりし事は誠に嬉しく
何となく被害担任艦となりえたる
感ありてこの点、いく分慰めとなる
(猪口艦長の遺書より)

その後4時間
海上に浮いていたが
19時35分 世界最強の戦艦は沈没した



15時30分
進むほど激化する空襲に
栗田艦隊は、日反転し
味方の航空反撃を待つ間
西進した

無理に突入するも
徒に好餌となり
成果期し難し
友軍の戦果に策応す



シブヤン海海戦



よし
突入を狙った
艦隊は撃退した

主力の機動部隊は
まだ見つからんのか

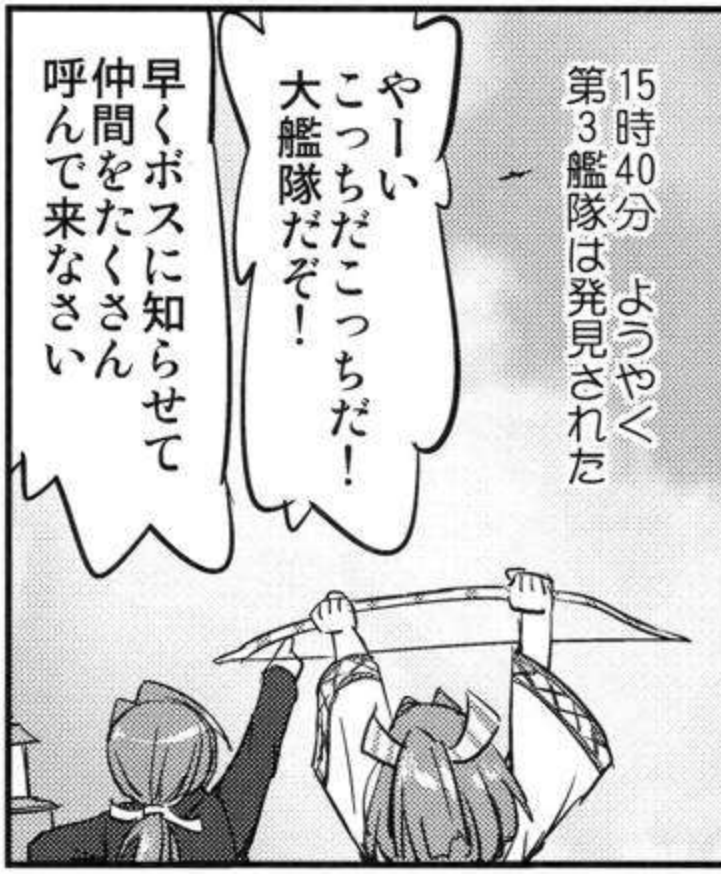
第3艦隊(小沢艦隊)

小沢はまだ発見されないため
四航戦を切り離し南下させた

伊勢さん日向さん
もう少し南まで
足伸ばしてきて
ください

早く
見つけなさいって

アメリカの索敵は
なっとらん



15時40分 ようやく
第3艦隊は発見された

やーい
こっちだこっちだ!
大艦隊だぞ!

早くボスに知らせて
仲間をたぐさい
呼んで来なさい

ジャップの
機動部隊を発見した



ここでマリアナの
ケリを付けるぞ!
空母部隊は全機を収容し
指定地点へ集結せよ



16時15分 第2航空艦隊は
薄暮攻撃29機を出撃させるが

戦果なく9機を失った

第2艦隊(栗田艦隊)

……
……
……
激しかった空襲が
ピタリと止まり
ましたわね

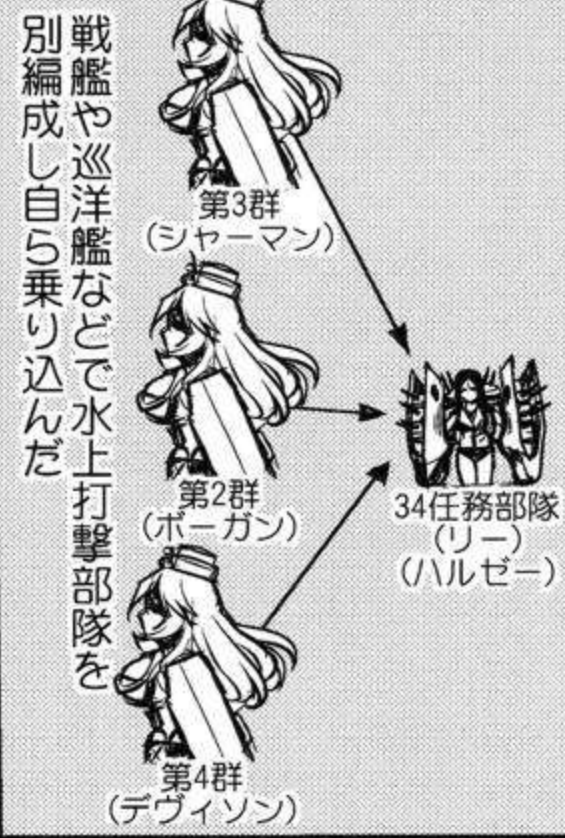
何か起きたの
かしら



ここから多くの偶然が
動き出す



ハルゼーはトラック大空襲の時のスプルーアンズのように空襲で動けなくなった艦に止めを刺して回るため



この別編成を聞いたマツカーサー指揮下の第7艦隊は勘違いをした
担当してる海峡を守る部隊を残すんだな
そして自らの艦隊は近づいてる西村艦隊を全力で迎え撃つためレイテ湾侵入の入り口に南下させた



さらに絶好の攻撃ポイントで多くの潜水艦が待ち伏せしてると思われた難関のサンベルナルジノ海峡は



栗田艦隊からレイテ湾までの道は突然ガラ空きとなった



18時55分 栗田艦隊から反転の連絡を受けた連合艦隊司令部には衝撃が走っていた



天佑を信じ全軍突撃せよ
この期に及んで反転すれば捷号作戦は崩壊し水上部隊によるレイテ湾突入の機会が再び到来せざるべし



実は栗田艦隊は18時には再反転してすでにレイテへ向かうていた

基地航空隊はなぜ援護に來ないのですか敵の情報もありません



友軍の攻撃状況と敵機動部隊の情報を求む



邪魔だろ道開ける
『最上』らが掃討隊を組んで先行し潜んでいる魚雷艇と交戦を始めていた



姉さん栗田艦隊から反転したと通信が...

豊田司令長官からは全軍突撃命令が出てます少し早いですが行きましょう！海軍伝統の夜戦でなら突破できる可能性があります

10月25日(突入日)



信じられん



何の攻撃も妨害も受けなかった

1時48分、満潮を先頭に第三部隊は魚雷艇を蹴散らしながら遂にスリガオ海峡に突入した



米軍は理想的な丁字陣形で待ち構えていた



旧式艦の多い第7艦隊は真珠湾攻撃で撃沈されようやく戦線に復帰した戦艦達が復讐に燃えていた

3時9分、西村艦隊は駆逐艦を発見し戦闘が開始された

右前方敵発見！
撃ち方始め！



だがその直後すでに放たれていた『リメイ』『マクゴワン』『メルヴィン』の魚雷のうち1本が扶桑に命中



扶桑は速度が低下し落伍した後大爆発を起こし何も出来ないまま5時20分までに沈没した

誰か遅れた？
いや大丈夫ね
みんな続いている



左舷に雷跡！



3分後の3時13分、今度は左側にいた駆逐艦『マンセン』『マクダーマット』が狙いすまして雷撃



魚雷は次々に命中し『満潮』『山雲』が沈没『朝雲』は船体断絶の大破となった

3時23分、米駆逐隊は『山城』と『時雨』をレールで捉え砲雷撃を集中させた



山城に魚雷が2本命中



我、魚雷攻撃を受く各艦は我を顧みず前進し敵を攻撃すべし



旗艦『山城』最後の命令だったがすでに前進すべき味方はほとんど残っていないかった

3時51分

第7艦隊は駆逐艦を引かせた後



瀕死の西村艦隊に対し戦艦と巡洋艦の斉射撃を開始した

それは一方的な殺戮だった

『山城』『最上』『時雨』は集中砲火を受け327.2発の砲弾を浴びせられた

山城は西へ逃れようとしたり所にさらに2本の魚雷を浴びて大爆発を起こし30分後に沈没した

最上は4本の魚雷を放つも火災を起こして反転した

米軍は味方駆逐艦への誤射が起きたため20分程で砲撃を中止した

最上さん！

時雨かい：無事なのかお前

いえ直撃喰らいましたよ

不発でしたけどね

ハッ

まったく：お前って奴はホントに海軍で最高の幸運艦だよ

突入は失敗だ幸い砲撃が止んでる後退しよう！

速度が出ない消火しながら行くから先に行ってくれ

はい

4時頃 魚雷艇の攻撃で損傷した『阿武隈』を残して『第5艦隊』が再びカオ海峡に突入してきた

あれは友軍？『我レニ続ケ』か！

『我レ時雨 舵機故障デ 修理中』なり

さすがに分かる

西村艦隊は突破できずに壊滅したんだ

4時24分 『那智』と『足柄』が電探を頼りに魚雷16本を発射し反転した

この電探じゃ何だか分らんがともかく右前方25度の目標物に向けて撃て！

しかしこれは海峡内の小島ヒブリン島だった

！

この火!
動いてるのか

4時24分、『最上』と『那智』は衝突し
那智は速度が20ノットへ低下した

那智姉さん
その足じゃ無理よ

突撃命令が
出てるんだ
これくらいで
終われるか

突破は不可能よ
西村艦隊を
見たでしょ



当隊攻撃終了
一応戦場離脱
後図を策す

第二戦隊全滅
最上大破炎上

5時20分、米第7艦隊は追撃で
南下を開始した



船体断絶でゆづり南へ逃れていた
『朝雲』は追いつかれ集中砲火を受け
沈没した
『最上』も10発を撃ち込まれたが
煙幕に紛れて脱出に成功した

ようし

何とか
応急修理完了
今から追いかけるか



また那智さんに怒られるな
いや怒る以前に
もう居ないかも...



みんな
戻ってきたの?

ハイ
突入は中止に
なりました

米軍の追撃が
来てるから急いで
引き上げないと



阿武隈
私の判断は間違ってる
と思うか?



いいんじゃないですか

実はこんなふうにも
突入してもやられる
だけだと思っちゃいました



ハッキリ
言いやがる

スリガオ海峡海戦

第3艦隊(小沢艦隊)

5時34分、分かれて南進していた『日向』
『伊勢』ら四航戦は三抗戦と再合流した

ご苦労さま

あ!
瑞鶴さん上



艦上機の
偵察機だ！

朝イチの索敵だ
今日は本隊が
来るぞ

よし
これから囷行動に
移って北へ誘い込む

航空隊は
直衛機だけ残して
みんな退避させよう

第3艦隊は零戦18機を残し
最後の艦攻・艦爆10機を
近くの基地へ向かわせた

苦勞さまー



同じ頃、米機動部隊と第7艦隊が南北に
離れている所へ栗田艦隊は
近づきつつあった



38任務部隊

第2艦隊
(栗田)



第7艦隊

レイテまでの海路には
上陸と輸送支援の
護衛空母群だけが残っていた

護衛空母は速度が遅く搭載機も少なく
ジープ代わりの『ジープ空母』などと
呼ばれる後方担当の艦だった



タフイ

米第7艦隊下には77任務部隊として
『タフイ1』『タフイ2』『タフイ3』の
3群に6隻づつをまとめて
飛行場が使えるまで代わりを務めていた

レイテ湾

ん？

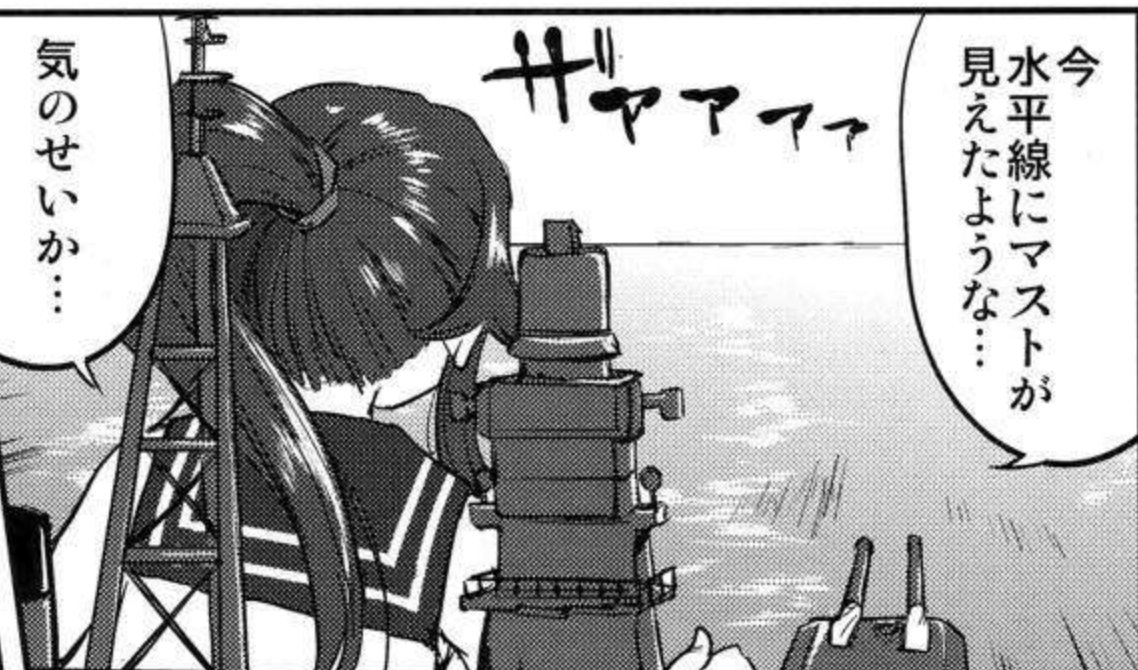


今
水平線にマストが
見えたような…

ハァアアア

気のせいか…

左40度
マスト4



空母2
巡洋艦2
駆逐艦4

敵

空母機動部隊と

遭遇せり



高速空母部隊が撃てる距離に!

奇跡じゃ!

奇跡が起きたのじゃ

う... クツ...

司令部ではどよめきと歓声が響き参謀の中には涙を流す者もいた

おおお

長門オオ泣いてる暇なんてないデース!!

姉さんどこへ!

風上に回り込んで砲撃するデス

鳥海!

絶対に逃しませんわ!

積年の恨み晴らさでおくべきか!

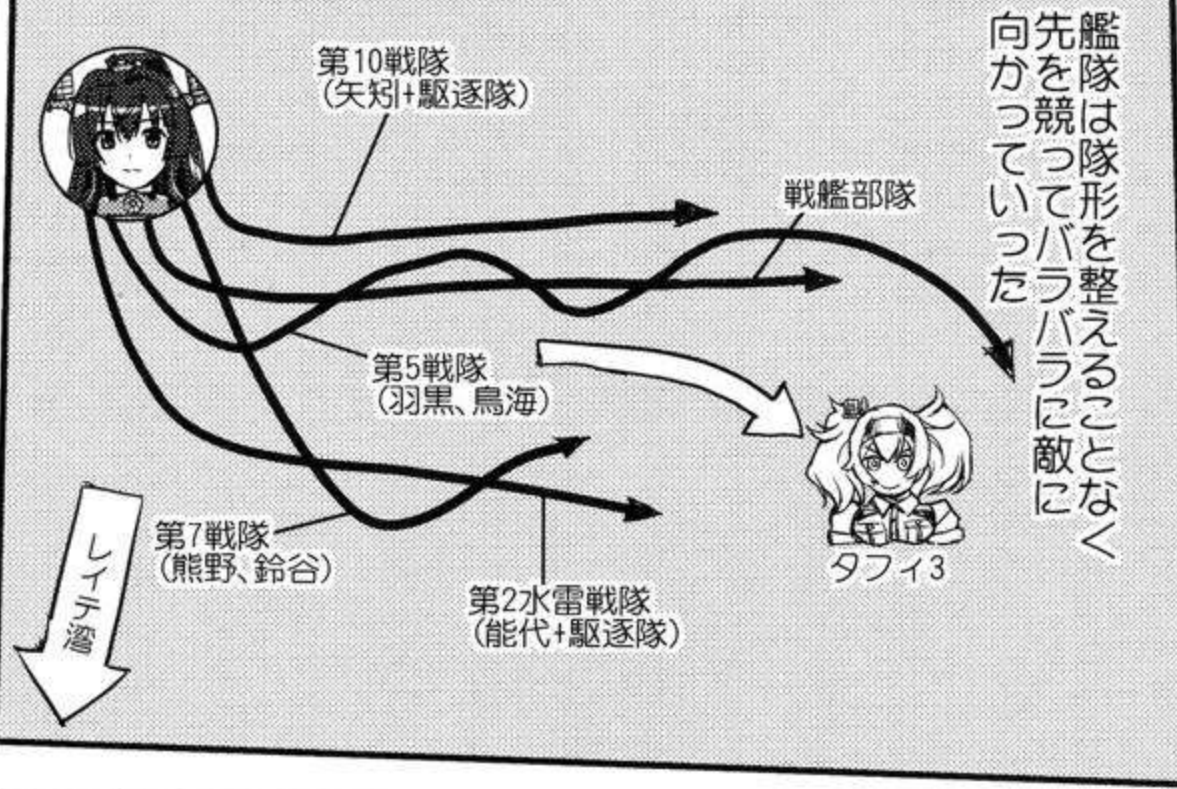
全軍突撃せよ!

6時58分 戦艦部隊は砲撃を開始した

栗田は5分後の7時3分に各司令部が勝手に始めた突撃を追認した

オオ

艦隊は隊形を整えることなく先を競ってバラバラに敵に向かっていた



偵察機から大艦隊の報告を受けた「タフイ3」はパニックに陥っていた

「違う! 日本軍だ」

「ハルゼーの機動部隊じゃないの!?!」

スコールへ逃げ込め! 駆逐艦は煙幕を張れ

『タフイ1』『タフイ2』へ大至急救援を求め!

救援要請を受けた『タフイ1』『タフイ2』はすぐに航空隊の発進を始めたが



特攻4機と護衛1機が遂に初の体当たり攻撃を実行し

護衛空母『サンティ』『スワンナー』を中破させた



何とかスコールへ逃げ込んだけど捕まるのは時間の問題ね

シヨンのCバトラー級護衛駆逐艦『サミュエルB回パーツ』

こうなったら第7艦隊の方へ逃げて敵を誘い込もう

私たち駆逐艦7隻は時間稼ぎに敵に水雷突撃を決行する



結果は全く分からないけど義務を果たそう!

7時9分、敵が見えなくなったため砲撃は10分で一旦中止となった



敵を追います

金剛だけは視認できる位置で撃ち続けたが

シット!



7時25分には自分がスコールに入ったため射撃を中断した

米駆逐艦は煙幕から飛び出して近づく日本艦隊に雷撃を始めた



『シヨンスター』は命中弾を浴びながらも10本を放ち『熊野』は1本を被雷した

速度の低下した熊野に駆け寄った『鈴合』は空襲で至近弾を浴び同じく速度が低下



第7艦隊は追撃戦から脱落した

『ホーエル』は『羽黒』と後方の『金剛』に向かい4本を発射したが躲かれた



しかしそのまま突進を続け残弾を重巡部隊へ撃ち尽くした後40発以上の命中弾を受け沈没した

7時50分『榛名』は逃げる護衛空母『カリニン・ベイ』を補足し次々命中弾を与える



沈みなさい

『サミュエルB回パーツ』は先頭の『鳥海』に突進して魚雷3本を発射した後



一時間に渡って弾のある限り撃ち続けて重巡多数に命中弾を与えた

米駆逐艦が持てる限りの魚雷をばらまく中誰が撃つたのか不明の魚雷が『大和』へ向かってきた



右舷に雷跡取舵! 大和は北へ舵を切って逃げたがちょうど6本の魚雷に挟まれた形となった

これは第二次大戦の古い魚雷で20ノットしか出ず



え？何これ！
ちよつと大和と並走する形となった

結局魚雷が燃料切れで沈むまで10分間北上を強いられ



8時4分大和は一人戦場が見えない位置に取り残された

8時10分 東へ回り込んでいた榛名と金剛は相次いで『タフイ2』を発見した

新たな空母機動部隊を発見！



榛名・金剛



タフイ13



タフイ12

2つ目の機動部隊…



第3艦隊



34任務部隊

38任務部隊

同時刻 ハルゼーは全力を挙げ第3艦隊へ迫りつつあった



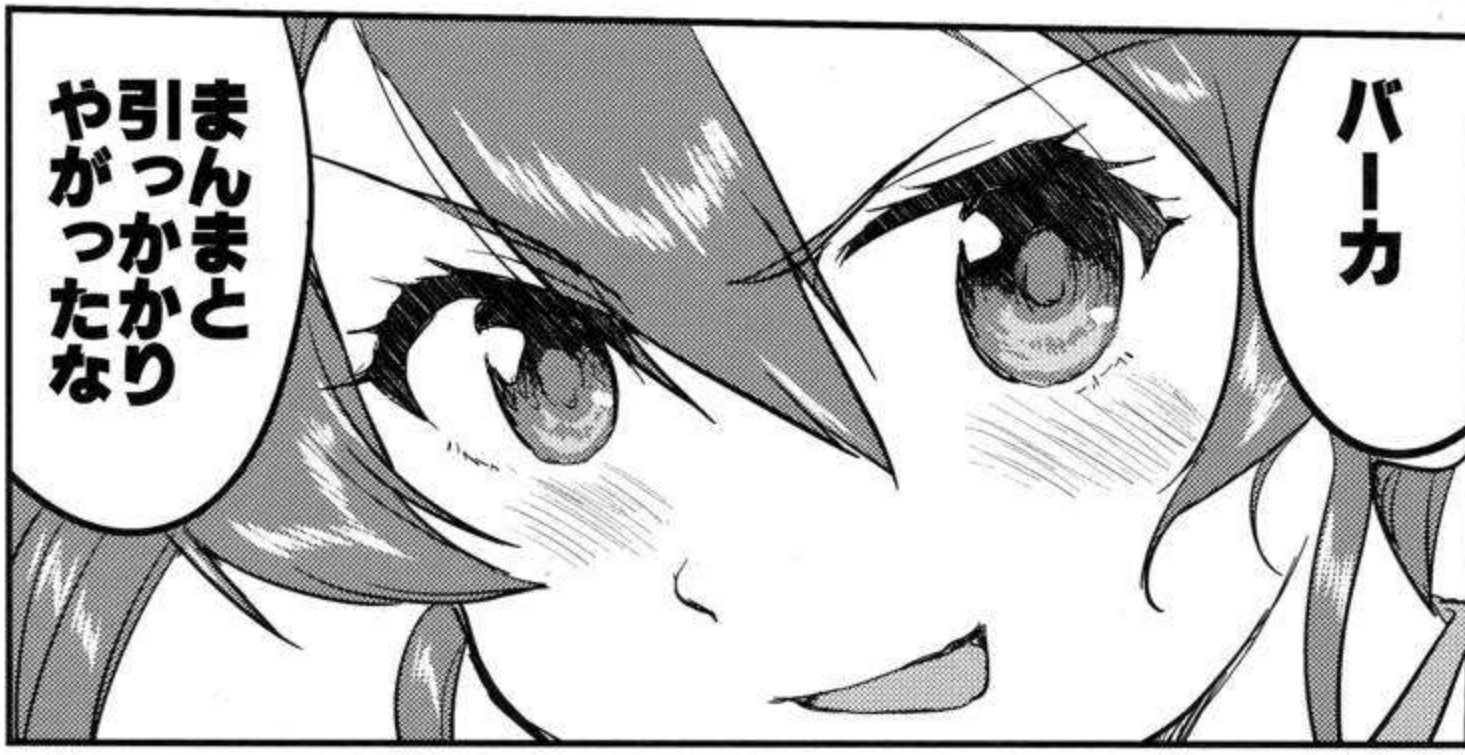
瑞鶴さんはさつきから何を？

ゴーアヘッド！



今度こそジャップの機動部隊を海の底へ沈めてやれ！

バーカ



まんまと引っかけたなり

8時15分 遂に米第一次攻撃隊180機が第3艦隊に襲いかかった

来ました！



ふッのこのこ現れやがって



お前らは今

直掩の『烈風』三百機に

高々度から襲われてんだよ

航空隊さえ

互角ならやすやすと負けるもんか



そつだよね、翔鶴姉エ

小沢艦隊最後の直掩18機は9機が撃墜されて後は防ぐ方法もなく各艦は次々と被弾していった

これで囷は果たしたッ

『千歳』 沈没
『秋月』 沈没
『瑞鳳』 爆弾1
『瑞鶴』 魚雷1
『伊勢』 至近弾3
『大淀』 爆弾1、至近弾2
『多摩』 魚雷1、至近弾2

作戦は成功した!

『艦隊は北方に誘致され敵艦上機来襲ッ
我と交戦中なり!』

しかしこの重要な通信は栗田提督に届かなかつた

バーニング
ラアアブ!



金剛
カサブランカ級護衛空母
『カシミア・ペイ』に
止めの命中弾を与え撃沈

追いつかれる!
駆逐艦は敵重巡と
空母の間に入れ!



ハルゼー提督の
救援はまだか!

今は重要な戦闘中だ
後退中のマケイン隊を
向かわせたと伝える

ニミッツ指揮下
第3艦隊司令長官
ハルゼー大将

マケイン隊は500哩も
離れたウルシーにいて
到着は3時間後だと
ふざけるな!



アメリカは
海軍と陸軍の連携が取れず
第7艦隊はハルゼーに電報を
打ち続けたがもう返事は来なかつた

先頭ではサミュエルBロバーツが
鳥海の水平射撃が当たらないほど
肉薄して戦っていた



チビ助
邪魔デス!



8時51分 金剛は
『サミュエルBロバーツ』も撃沈



しかし乱戦の中で
鳥海をも誤射して
舵に損傷を与え落伍させた

この頃になるとタフィー1や2からの
救援機が徐々に到着し
空襲が激しくなっていた

護衛空母のパイロットは
機動部隊より腕は落ちるが
直掩機のない艦隊は
やりやすい相手だった

8時51分 『筑摩』が艦攻の雷撃を
受けて火災発生



8時59分
能代と17駆逐隊の第10戦隊は
フレッチャー級大型駆逐艦
『シヨーンストーン』を撃沈した



撃て
撃て！

9時11分 栗田は
広範囲に散らばりすぎた
艦隊に集結を命じた

戦果は十分です
機動部隊に挟まれて
空襲も激しくなっています

逐次集まれ
我〇九〇〇〇の位置
『ヤウヤウ』

大分時間も食いました
突入用の燃料と弾薬も
残しておかないといけません



残念じゃ
あと一息で必中の
距離だったのに

先頭の『利根』と『羽黒』は
遅い護衛空母と魚雷を撃ち尽くした
駆逐艦の艦隊まで後7kmだった



栗田艦隊から空母機動部隊を
一つ撃滅した戦果の情報伝えられ

空母3乃至4撃沈 1大破
重巡2撃沈 駆逐艦4撃沈

連合艦隊司令部と軍司令部は
沸き立った

サマール沖海戦

9時58分 ハルゼーの第二次攻撃
36機がすでに直掩機をすべて失った
小沢艦隊を襲った



『早代田』が爆弾火災発生
損傷していた『多摩』は
単艦で沖縄中城湾へ向かった

ハワイで
第7艦隊とハルゼーの
やり取りを聞いていた
ミニッツは



自ら
ハルゼーに
打電させた

『七面鳥は水へ急ぐ』
34任務部隊はどこにいるか
全世界が知りたがっている』

米海軍の暗号通信は
電文の前後に無意味な文章を付け
足して送信し、受信側の暗号士が
それを省いて司令官に伝えた

『34任務部隊は
どこにいるのか』



この通信は
ワシントンとキングと
第7艦隊のキンケイド
にも送られた

そして当のハルゼーには
暗号士が意味が通ったので
後半を省かずに伝えてしまった

『34任務部隊はどこにいるか
全世界が知りたがっている』

これはアメリカでは子供も知ってる
テニスン軽騎兵隊突撃の歌だった

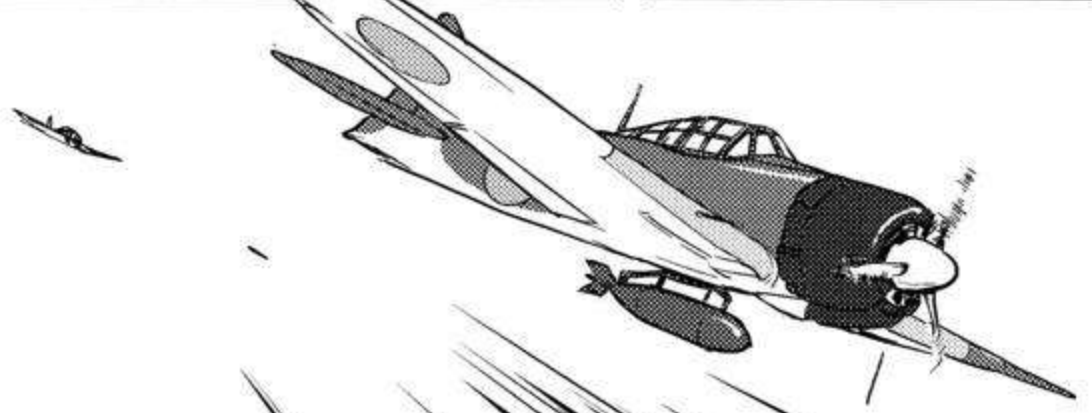


俺は日本の機動部隊を
撃滅するという最も重要な
任務をやってるんだ



なぜミニッツは
人を侮辱するような
通信を寄越すんだ！

10時40分
栗田艦隊が引き
上げ危機を脱し
たかと思われた
ファイ3に



今度は
関大尉率いる
神風特攻隊
『敷島隊』が
突入してきた

特攻機5直掩機1が突入し
護衛空母
『セント・ロー』撃沈
『キトカン・ベイ』損傷
の戦果を挙げた



続いて
『大和隊』と彗星2機の特攻で
『カリニン・ベイ』が損傷した

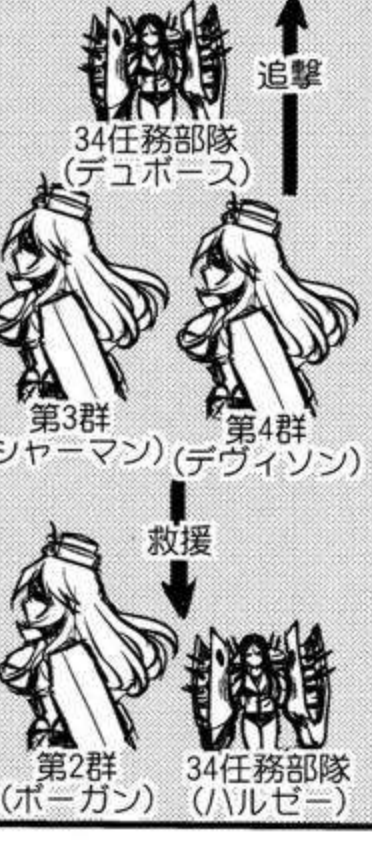
わずか十数機の特攻隊が複数の空母に
次々と戦果を上げたことで

この日も何ら成果を出せな
かった主力『第2航空艦隊』
の立場は悪くなった

7時第一次攻撃104機
(空母発見出来ず帰還)
13時第二次攻撃34機
(空母発見できず帰還)
15時第三次攻撃48機
(上空支援で敵35機と交戦
羽黒を誤って攻撃)



10時15分 ハルゼーは部隊を2つに分け
ようやく救援に南下を始めた



栗田艦隊はタフイの反復空襲を受けながら
2時間半掛けて集結し艦隊を組み直した



集結中の11時15分に
『鈴谷』が空襲で魚雷の
誘爆を起こして
12時30分に沈没した

損傷した『鳥海』には『藤波』をつけて
後退させたが



10時間後の21時40分
航行不能となり
鳥海は雷撃処分された

同じく損傷した『筑摩』には『野分』が
救援に向かったがすでに
沈みかかっており



5時間後の16時過ぎに雷撃処分された

同11時30分、南では追撃の空襲で瀕死の
『最上』を救援の『曙』が雷撃処分した



もういい！曙
沈めてくれ

集結を完了した11時20分、南西方面
艦隊から新たな敵の情報が入った
(発信記録なし)



『ヤキーカ』に
敵機動部隊発見
攻撃されたし

11時22分 しかし栗田提督は
再び南下を命じた



レイテ湾に突入す
針度220!

上陸2日以内の突入が5日になり
未明の計画が昼11時になり
すでに20分：もう西村艦隊との
協同もできまい



それでも
今から向かうのか大和

レイテ島のマツカ川と川と
弾薬不足に陥ってる第7艦隊
キシケイドは



固唾を飲んで栗田艦隊の動きを
見つめていた

12時26分
レイテへ進み始めて1時間後

レイテ突入を
やめ

『ヤキーカ』にて
敵機動部隊と
決戦す

栗田艦隊はレイテ湾を目の前にしてターンした

30分後の13時5分
米第三次攻撃隊約100機が
第3艦隊を襲った

攻撃は空母の
『瑞鶴』『瑞鳳』に集中した

瑞鶴は次々と命中弾を浴び
魚雷7、爆弾4、至近弾無数の
袋叩き状態となった

沈め
ズイカク!

これで
復讐は完了だ

大和は
突入したの
かアア

や...大和は...

瑞鶴さん!

クッ

ちくしよおオ

あっち行け!
瑞鶴さんに
近づくなッ!

まともな
航空隊さえいれば

お前らなんか:
お前らなんか!

瑞鳳も
魚雷2、爆弾4
至近弾多数を浴びた



瑞鶴さん
あなたと共に戦えて
光栄でした！

それは…

翔鶴姉エや
赤城さん達に
言ってるよ…
私はいいい加減で…



瑞鶴さん

瑞鶴

バンザイー

バンザイー
バンザイー

14時14分

瑞鶴は沈没した

その後10発の至近弾を浴びた瑞鶴も
後を追うように15時26分に沈没した



栄光ある
日本の機動部隊も

これで終焉か…

16時47分 ハルゼーから分離した
デューボースの重巡部隊は
小沢艦隊のいた位置まで到着し
航行不能ながら撃つてきた
『千代田』を撃沈した

17時22分
最後の第四次攻撃85機が小沢艦隊を襲い
残る大型艦『伊勢』『日向』が狙われた

飛行機はなくても
新型の対空多装
ロケット砲装備よ！

しかし両艦は
『伊勢』至近弾4
『日向』至近弾10数発
を受けながらも巧みな操艦と
対空戦闘で切り抜け北上を続けた



18時40分 同じく北へ脱出中の
『五十鈴』『初月』『若月』は
さらに追撃を続けるデューボース隊に
補足され攻撃を受けた

足止め？
冗談じゃない
ボクが撃退してやる

『初月』は単独で反転し
夜戦で果敢に反撃したが2時間粘った後
集中砲火を受け20時45分に沈没した

初月の撃沈に時間を費やした
34任務部隊は追撃を中止した

役割を果たし切った第3艦隊は
日本へと向かった

エンガノ岬沖海戦

栗田艦隊は『ヤキーカ』
付近に到達していたが
敵の姿はなかった

断続的な
空襲を受けながら
あてもなくしばらく
辺りを航行していた

艦隊には
「すでに十分戦った」
という疲労と倦怠感が
漂っていた

敵機動部隊との決戦を求め
サンベルナルジノ水道を
突破します

事実上引き返すという決断に
連合艦隊司令部もはや
反対はせず形式的な
攻撃命令を出して
追認した

第1遊撃部隊は今夜
乗すべき機会があれば
敵を補足撃滅せよ
夜戦の見込みなくば
補給地に回航せよ

19時25分 軍司令部からも
追認の命令が出され
レイテ湾
突入は正式に中止となった

もともと
レイテ湾の殴り込みは
戦略的合理性より
海軍の面目で作られた
異常な作戦だった

全力を注ぎ込み
戦艦と重巡が活躍し
一つの敵機動部隊を
撃滅した今

疲労困憊ながらも
海軍の面目はようやく
保たれたと判断された

栗田艦隊は
レイテを去った

最後にして
最大の戦いは
終わり

ここに
連合艦隊は
事実上壊滅した

レイテ沖海戦

テートクの決断

レイテに散る

登場艦娘

金剛 榛名 大和 武蔵 長門
扶桑 山城 伊勢 日向
瑞鶴 瑞鳳 雲龍 天城
千歳 千代田 羽黒 高雄
愛宕 摩耶 鳥海 熊野
鈴谷 利根 筑摩 青葉
那智 足柄 最上 矢矧
能代 長良 名取 阿武隈
多摩 時雨 浦風 磯風 霞
野分 不知火 雪風 伊26

Adult Only
TAKOTUBOYA

テートクの決断	昭和16年の敗戦 (1941. 7. 28~1941. 12. 8)
テートクの決断	MIDWAY (1941. 12. 8~1942. 6. 7)
テートクの決断	鉄底海峡 (1942. 6. 8~1943. 2. 7)
テートクの決断	ラバウル1943 (1943. 2. 8~1943. 8. 25)
テートクの決断	絶対国防圏 (1943. 8. 26~1943. 12. 14)
テートクの決断	あ号作戦への道 (1943. 12. 15~1944. 6. 23)